



# ユーザーガイド

---

VIGI Security Manager

---

# 本ガイドについて

本ユーザーガイドには、VIGI Security Managerを使用してカメラやネットワークビデオレコーダーを集中管理するための情報を記載しています。ご使用の際は、本ガイドをご確認のうえ操作を行ってください。

## 注意事項

本ガイドを使用する際は以下にご注意ください：

- VIGI Security Managerで利用できる機能は、地域・デバイスモデル・ファームウェアバージョンによって異なる場合があります。掲載されている全ての画像・手順・説明は一例であり、実際に使用される製品では対応していない場合もあります。
- 本ガイドに掲載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。本ドキュメントは正確性を期すために細心の注意を払って作成されていますが、全ての情報及び推奨事項は、明示的・暗示的な内容に関わらず、いかなる保証も行いません。製品における全責任はユーザーが負うものとします。
- 本ガイドにおいて以下の表記は次の内容を意味します。

---

### 下線

テキストにリンクが含まれていることを示します。クリックすると特定の項目やWebサイトに飛ぶことができます。

---

### 太字

メニュー・タブ・ボタン等の重要なキーワードや管理画面上のテキストを示します。

---

### >

管理画面の進み先を示す矢印の役割をしています。

---

### ⓘ 注意

この表記がある内容を見逃した場合、デバイスの損傷やデータの損失が発生する可能性があります。

---

### Note

デバイスをより効果的に使用するために役立つ情報を示します。

---

## 詳細情報

- 技術的なご質問や最新のユーザーガイド等の情報はこちら：<https://www.tp-link.com/support>.
- 製品について相談し合えるテクニカルコミュニティ（英語）はこちら：<https://community.tp-link.com>

# 目次

## 本ガイドについて

<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
1.1 VIGI Security Managerをインストール .....	2
1.2 ネットワークトポロジーを決める .....	3
<b>デバイスを追加</b> .....	<b>5</b>
2.1 ローカルネットワークにデバイスを追加 .....	6
2.1.1 TP-Link IDを使用しないでVIGI Security Manager へデバイスを追加する場合 .....	6
2.1.2 TP-Link IDでログインのうえVIGI Security Manager へデバイスを追加する場合 .....	16
2.2 リモートでデバイスを追加 .....	19
<b>TP-Link IDの管理</b> .....	<b>22</b>
3.1 TP-Link IDでログイン .....	23
3.2 TP-Link IDの管理 .....	25
3.3 パスワードの変更.....	27
3.4 TP-LinkIDからログアウト .....	27
<b>ライブ視聴</b> .....	<b>28</b>
4.1 画面表示の設定 .....	29
4.1.1 ライブ視聴の有効/無効 .....	29
4.1.2 レイアウトの変更 .....	31
4.2 ライブ視聴の設定.....	32
4.2.1 ツールバーの使い方 .....	32
4.2.2 カメラ1台のライブ視聴設定 .....	33
4.3 グループの追加と管理.....	34
4.3.1 グループの追加 .....	34
4.3.2 グループの管理 .....	35
<b>動画の再生</b> .....	<b>38</b>
5.1 録画映像の再生.....	39
5.2 再生ページの操作方法 .....	40
5.2.1 基本操作 .....	41
5.2.2 録画映像の編集 .....	42

<b>録画&amp;ストレージ</b> .....	<b>45</b>
6.1 カメラ1台のスケジュールを設定する.....	46
6.1.1 スケジュールテンプレートの編集.....	46
6.1.2 ストレージ設定.....	49
6.1.3 録画スケジュールの設定&ストレージ設定の確認.....	51
6.2 ストレージ管理.....	53
6.3 記録をエクスポート.....	53
6.4 ファイル設定.....	57
6.5 エクスポート形式.....	58
<b>カメラ&amp;NVRの設定</b> .....	<b>59</b>
7.1 デバイス情報の確認.....	60
7.1.1 デバイス情報の確認.....	61
7.1.2 システムログの確認（カメラのみ）.....	62
7.2 基本情報の設定.....	62
7.3 情報を表示の設定.....	63
7.3.1 画像エフェクトの設定.....	63
7.3.2 プライバシーマスクの設定.....	67
7.3.3 OSDの設定.....	67
7.4 動画の設定.....	68
7.4.1 ストリームの設定.....	69
7.4.2 ROIの設定（カメラのみ）.....	70
7.5 イベントの設定（カメラのみ）.....	70
7.5.1 基本イベントの設定.....	71
7.5.2 スマートイベントの設定.....	72
7.5.3 例外イベントの設定.....	76
7.6 ネットワークの設定.....	77
7.6.1 基本&高度なネットワークの設定.....	77
7.6.2 ポート番号の設定（カメラのみ）.....	78
7.6.3 ポート開放の設定（カメラのみ）.....	79
7.6.4 IP制限の設定（カメラのみ）.....	80
7.6.5 マルチキャストの設定（カメラのみ）.....	81
7.7 クラウドサービス.....	82
7.8 システム設定.....	85
7.8.1 基本設定.....	86
7.8.2 時刻設定.....	87
7.8.3 デバイスの再起動.....	88
7.9 ファームウェアアップデート.....	90

7.10 デバイスの削除.....91

**システム管理.....92**

# 1

## はじめに

この章では、VIGI Security Managerのインストール方法とネットワークポロジの選び方について説明します。VIGI Security Managerを利用することで、VIGIカメラとNVRを効率的かつ手軽に管理可能です。

- [VIGI Security Managerをインストール](#)
- [ネットワークポロジを決める](#)

VIGI Security Managerを搭載した信頼性の高いネットワーク管理プラットフォームを使用すると、ライブ視聴/再生・デバイスの追加・イベント設定・カメラの録画/保存スケジュールの設定・PCへの記録エクスポートを行うことができます。


## ♥ 1.1 VIGI Security Managerをインストール

VIGI Security ManagerはWindows OSのみに対応しています。使用するPCのOSをご確認のうえ、インストールしてください。

### ■ システム要件

OS : Win XP/Win 7/Win 8/Win 8.1/Win 10 (ソフトウェアの安定性を保つために、64ビット版のご利用を推奨します)

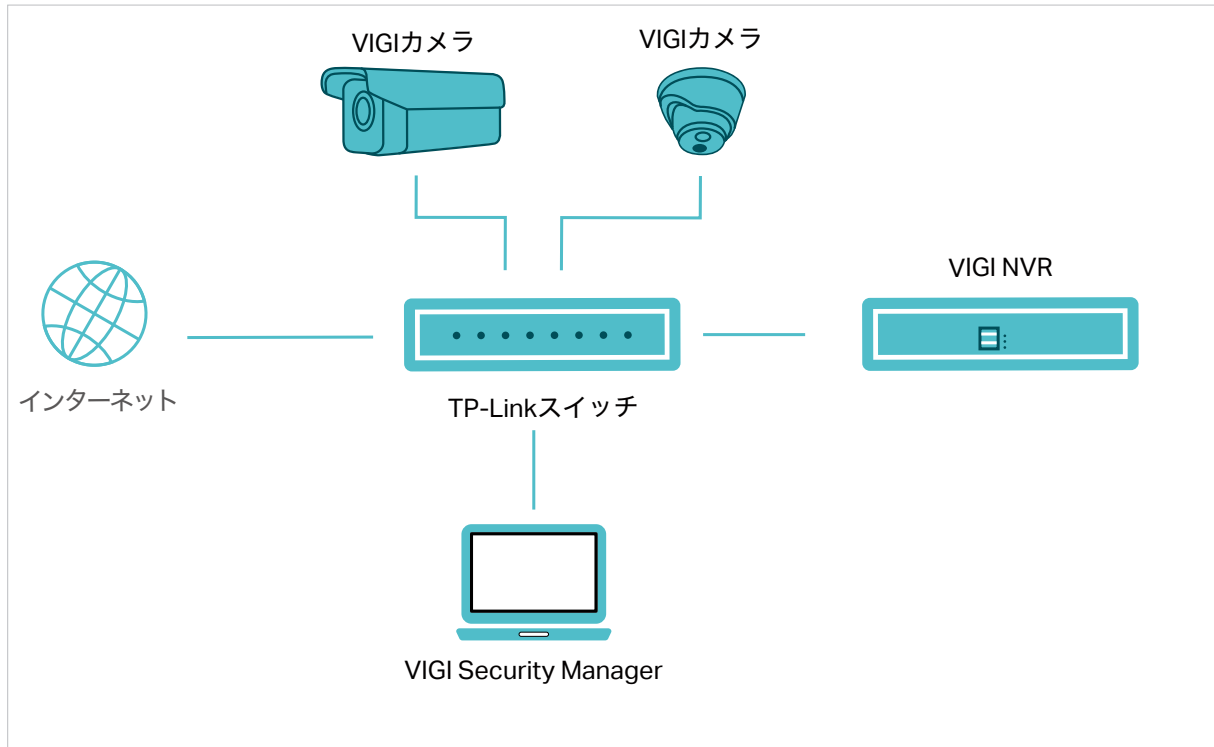
### ■ VIGI Security Managerのインストール方法

[webサイト](#)からVIGI Security Managerのインストールファイルをダウンロードし、画面表示に従ってインストールを完了させます。インストールが正常に完了すると、VIGI Security Managerのショートカットアイコン  がデスクトップに作成されます。

## ♥ 1.2 ネットワークトポロジーを決める

ネットワークトポロジーは実際の要件によって異なります。以下では典型的なアプリケーションシナリオを2例ご紹介します。

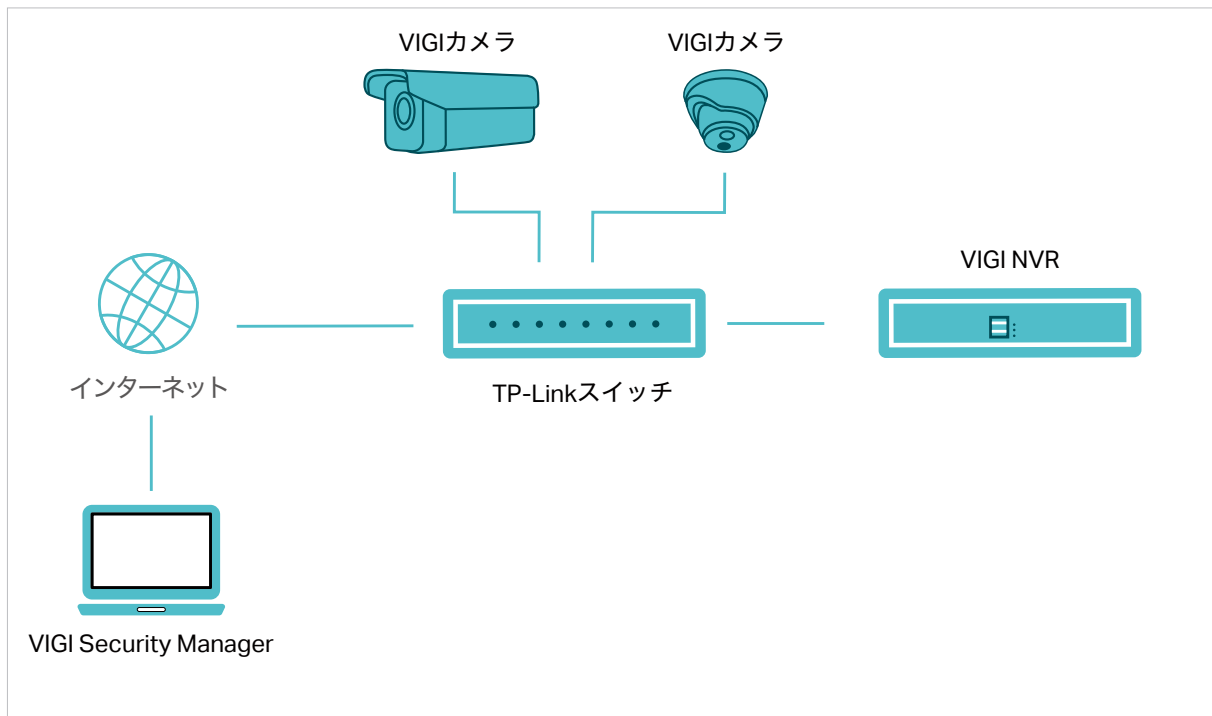
### ■ VIGI Security Managerをローカルネットワークで使用する場合



カメラとVIGIネットワークビデオレコーダー（NVR）がPCと同じサブネットにある場合は、そのPCにVIGI Security Managerをインストールします。ライブ視聴/再生・検出リストからのデバイス追加・デバイス管理・録画/保存スケジュールの設定・PCへ記録エクスポート等を行えます。



## ■ VIGI Security Managerをリモートで使用する場合



自宅やオフィスを外出先からモニタリングしたい場合は、インターネット接続が可能なPCへVIGI Security Managerをインストールし、TP-Link IDでログインします。IDにカメラやVIGIネットワークビデオレコーダーを紐付けておくと、ライブ視聴や再生ができます。

# ②

## デバイスを追加

この章では、カメラやVIGIネットワークビデオレコーダー（NVR）をVIGI Security Managerに追加する方法を説明します。要件に応じて、ローカル及びリモートでの追加が可能です。

- [ローカルネットワークにデバイスを追加](#)
- [リモートでデバイスを追加](#)

## ♥ 2.1 ローカルネットワークにデバイスを追加

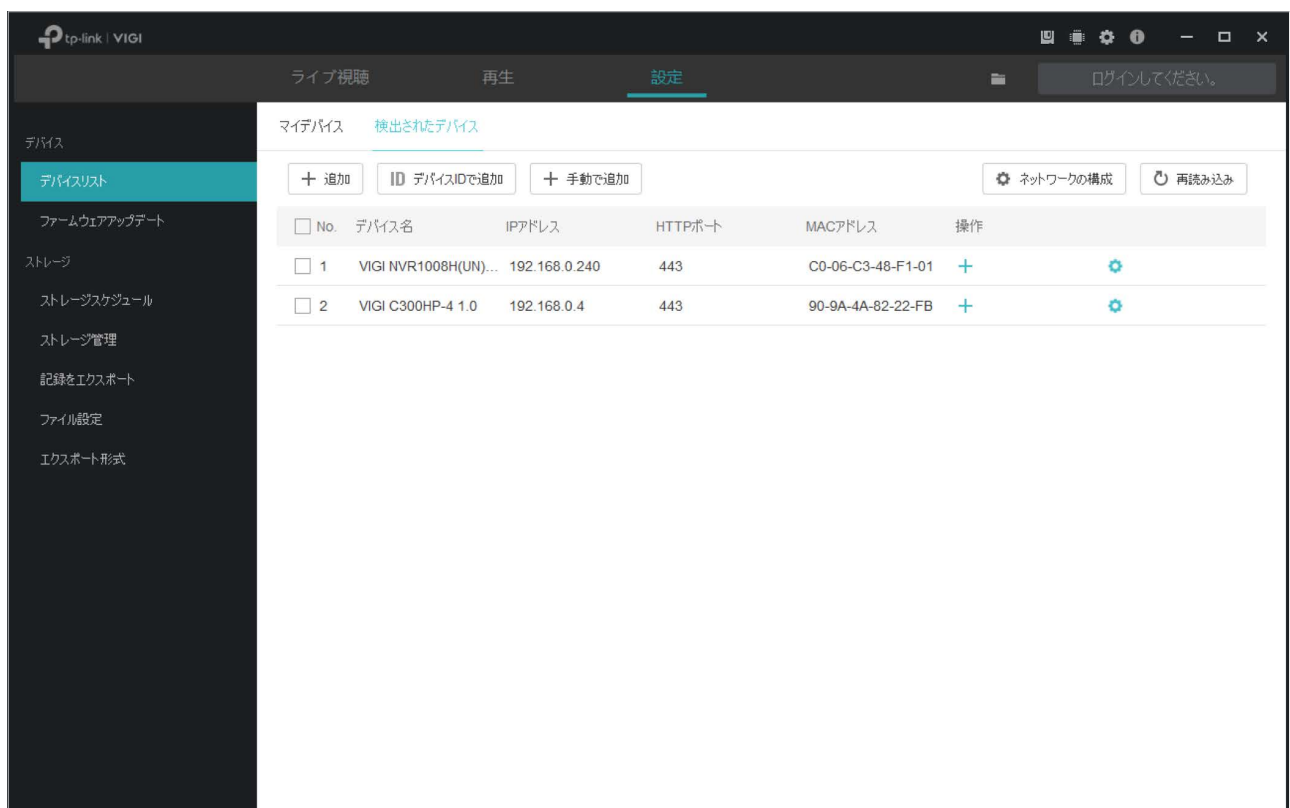
NVRとカメラをローカルで追加する場合は、デバイスがコンピューターと同じサブネット内にあるかご確認ください。

### 2.1.1 TP-Link IDを使用しないでVIGI Security Managerへデバイスを追加する場合

以下3つの方法から (1台ずつ追加, まとめて追加, 手動で追加) 1つを選択し、記載されている手順に沿って進めてください。

#### ■ 1台ずつ追加

1. **設定 > デバイスリスト > 検出されたデバイス** の順に進み、リストの **+** をクリックします。



🔧 ネットワークの構成

デバイスのIPアドレス・ゲートウェイ・サブネットマスクを設定します。

🔄 再読み込み

🔄 再読み込み

をクリックするとデバイスリストが更新されます。

2. デバイスのパスワードを入力すると、VIGI Security ManagerがデバイスのIPアドレスとポート番号を自動で検出します。（デフォルトのままです）続いて**認証**をクリックします。

デバイスを追加

① 確認装置 ② 完了

デバイスのパスワードとポート番号を入力し、デバイスを追加します。

ユーザー名: admin

パスワード:  パスワードをお忘れの場合

IPアドレス: 192.168.0.240

ポート番号: 443

認証

**Note :**

- カメラにパスワードが設定されていない場合は、追加する前にパスワードとパスワードリセットメールの設定を行い、セキュリティを強化する必要があります。

デバイスを追加

① 確認装置 ② 完了

デバイス 1 台にパスワードが設定されていません。セキュリティ強化のためにパスワードを設定してください。

ユーザー名: admin

パスワード: 新しいパスワード

パスワード確認: 新しいパスワードを確認

パスワードリセットメール: Eメール

次

<b>ユーザー名</b>	カメラのユーザー名を表示します。
<b>パスワード</b>	カメラのパスワードを設定します。
<b>パスワード確認</b>	確認のために設定したパスワードをもう一度入力します。
<b>パスワードリセット メール</b>	カメラのパスワードをリセットするためのメールアドレスを入力します。

- セットアップが完了していないNVRの場合は、初めにNVR本体のログインパスワードを作成しセットアップを行ってから追加してください。

3. カメラの記録をPCに保存しない場合は、何もせず「**確認**」をクリックします。（カメラのみ）

デバイスを追加 ×

---

① 確認装置      ② 録画を設定      ③ 完了

---

PCへの記録を有効にし、記録をPCへ保存します。

PCに記録       有効にする

**確認**

カメラの記録をPCへ保存する場合は、**PCに記録の有効にする**にチェックを入れ、必要項目を設定のうえ**確認**をクリックします。

✕
デバイスを追加

① 確認装置
② 録画を設定
③ 完了

PCへの記録を有効にし、記録をPCへ保存します。

PCに記録  有効にする

スケジュール 24時間連続録画 変更

保存場所 コンピューター C:\Users\ericy\AppData\Roaming\ ブラウズ

空き容量: 114 GB

ストレージ 2 GB

ループ録画  有効にする

解像度  HQ  LQ

確認

### スケジュール

変更 をクリックすると、カメラの録画映像をPCに記録する期間を設定できます。

### 保存場所

ブラウズ をクリックし、ファイルの保存場所を選択します。

### ストレージ

PCへ保存するためのストレージ容量を設定します。設定するストレージの容量は、PCの空き容量未満にする必要があります。

### ループ録画

チェックボックスをクリックしてループ録画を有効にできます。有効にすると、容量がいっぱいになった際に上書き保存が行われます。

### 解像度

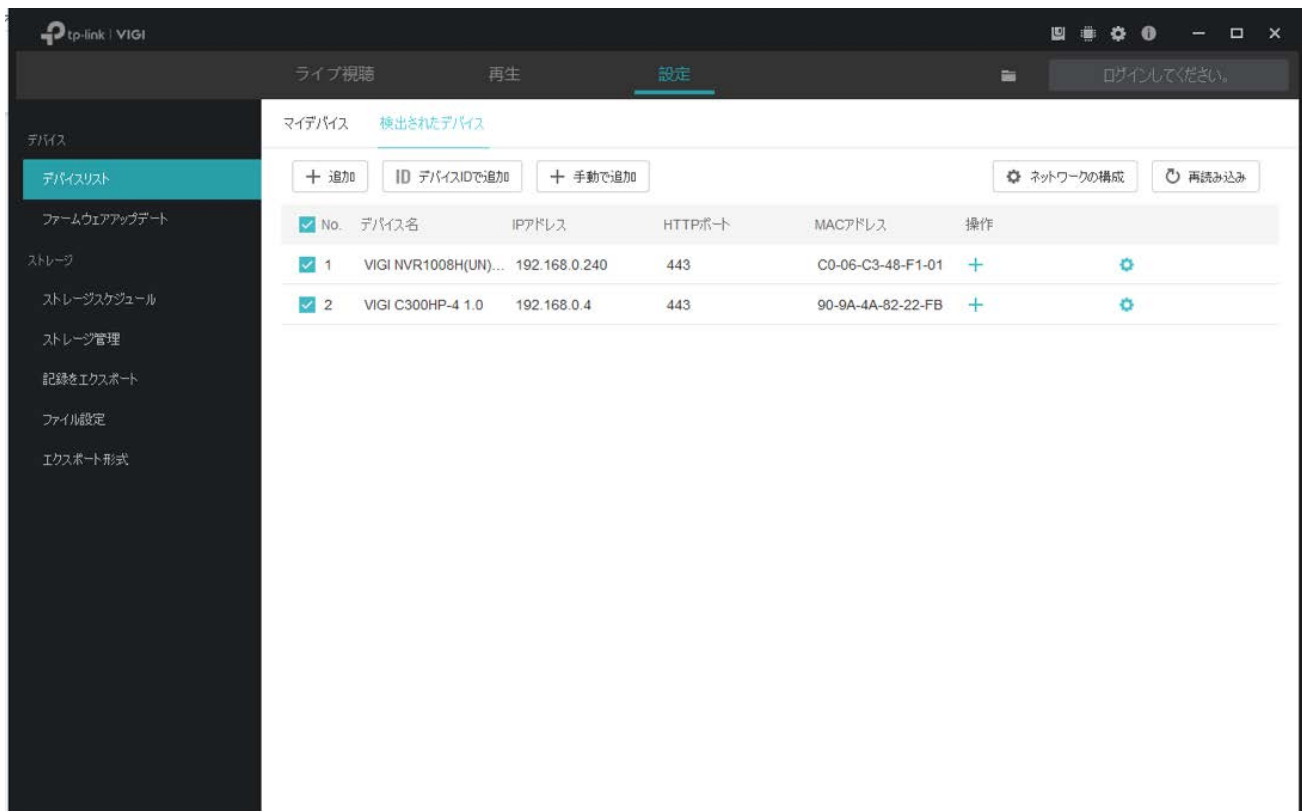
記録する映像の解像度を選択できます。HQは高解像度、LQは低解像度を意味しています。

4. デバイスの追加が完了したら**OK**をクリックします。



## ■ まとめて追加

1. **設定 > デバイスリスト > 検出されたデバイス**の順に進み、追加したいデバイスにチェックを入れて **+ 追加** をクリックします。



2. デバイスのパスワードを入力し、「**続行**」をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "デバイスを追加" (Add Device) with a close button (X) in the top right corner. At the top, there is a progress bar with two steps: "1 確認装置" (1 Confirm Device) which is currently active and highlighted in blue, and "2 完了" (2 Complete). Below the progress bar, the text reads "認証用に1 NVRと1 IPCのパスワードを入力してください。" (Please enter the password for 1 NVR and 1 IPC for authentication). There are two input fields: "ユーザー名" (Username) with the value "admin" and "パスワード" (Password) which is empty. A blue button labeled "続行" (Continue) is located at the bottom right of the dialog.

**Note :**

- デバイスをまとめて追加できない場合は、1台ずつ個別の追加をお試しください。
- カメラにパスワードが設定されていない場合は、追加する前にパスワードとパスワードリセットメールの設定を行い、セキュリティを強化する必要があります。
- セットアップが完了していないNVRの場合は、初めにNVR本体のログインパスワードを作成しセットアップを行ってから追加してください。

3. カメラの認証が完了したら「**次**」をクリックします。



The screenshot shows the same "デバイスを追加" (Add Device) dialog box. The progress bar now has three steps: "1 確認装置" (1 Confirm Device), "2 録画を設定" (2 Set Recording), and "3 完了" (3 Complete). The first step is still active. The text below the progress bar reads "NVR 1 台、カメラ1 台が検証されました。" (1 NVR and 1 camera have been verified). A blue button labeled "次" (Next) is located to the right of the text.



4. カメラの記録をPCに保存しない場合は、何もせず「確認」をクリックします。(カメラのみ)

デバイスを追加

1 確認装置 2 録画を設定 3 完了

デバイスの録画設定をします。

PCに記録  有効にする

確認

カメラの記録をPCへ保存する場合は、**PCに記録の有効にする**にチェックを入れ、必要項目を設定のうえ**確認**をクリックします。

デバイスを追加

1 確認装置 2 録画を設定 3 完了

デバイスの録画設定をします。

PCに記録  有効にする

スケジュール 24時間連続録画 [変更](#)

保存場所 コンピューター C:\Users\ericy\AppData\Roaming\ [ブラウズ](#)  
空き容量: 114 GB

ストレージ 2 GB  
全デバイスの最大記録ストレージ

ループ録画  有効にする

解像度  HQ  LQ

確認

### スケジュール

[変更](#) をクリックすると、カメラの録画映像をPCに記録するスケジュールを設定できます。

### 保存場所

[ブラウズ](#) をクリックし、ファイルの保存場所を選択します。

## ストレージ

PCへ保存するためのストレージ容量を設定します。設定するストレージの容量は、PCの空き容量未満にする必要があります。

## ループ録画

チェックボックスをクリックしてループ録画を有効にできます。有効にすると、容量がいっぱいになった際に上書き保存が行われます。

## 解像度

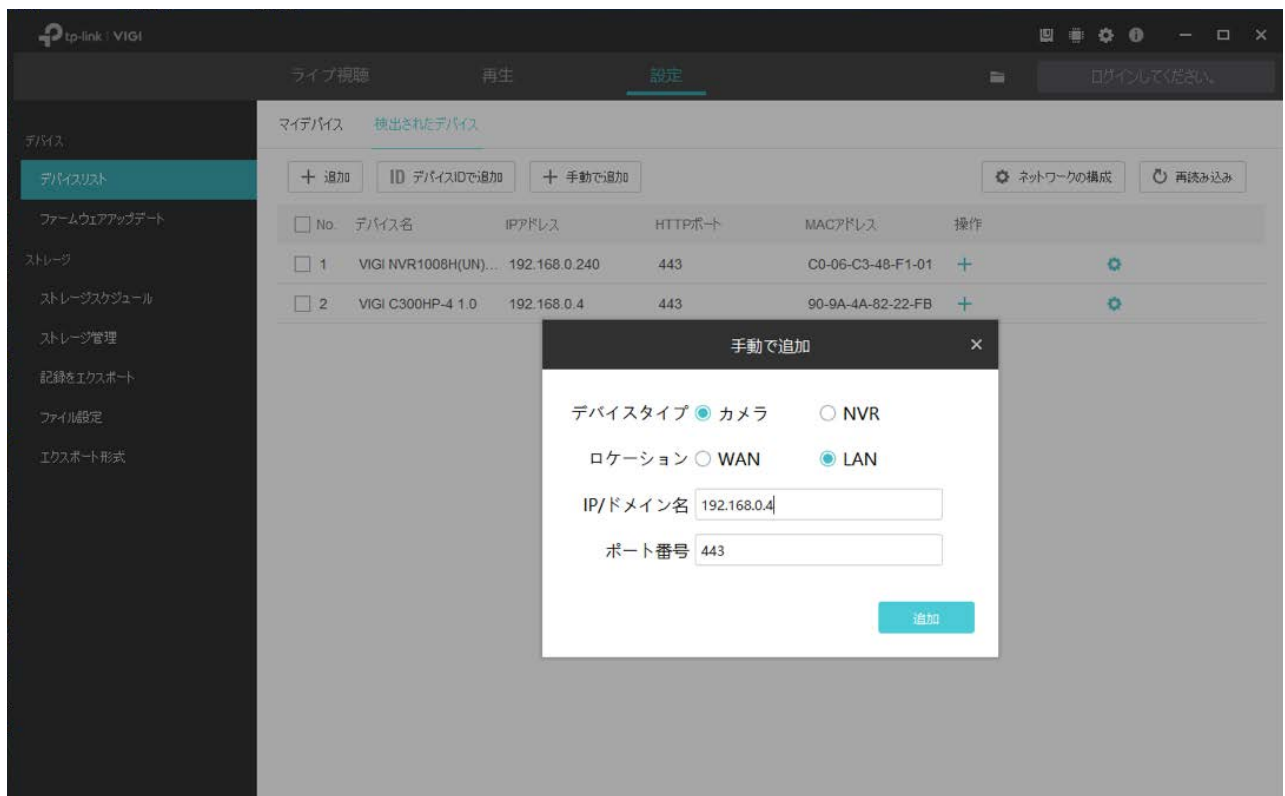
記録する映像の解像度を選択できます。HQは高解像度、LQは低解像度を意味しています。

5. デバイスの追加が完了したら**OK**をクリックします。



### ■ 手動で追加

1. **設定 > デバイスリスト > 検出されたデバイス**の順に進み、**+ 手動で追加** をクリックします。
2. デバイスタイプを選択し、デバイスのIPアドレス/ドメイン名とポート番号（デフォルトは80）を入力します。入力が完了したら「**追加**」をクリックします。



3. デバイスのパスワードを入力すると、VIGI Security ManagerがデバイスのIPアドレスとポート番号を自動で検出します。(デフォルトのままです) 続いて**認証**をクリックします。

デバイスを追加

1 確認装置 2 完了

デバイスのパスワードとポート番号を入力し、デバイスを追加します。

ユーザー名 admin

パスワード ●●●●●● ● パスワードをお忘れの場合

IPアドレス 192.168.0.4

ポート番号 443

認証

**Note :**

- カメラにパスワードが設定されていない場合は、追加する前にパスワードとパスワードリセットメールの設定を行い、セキュリティを強化する必要があります。
- セットアップが完了していないNVRの場合は、初めにNVR本体のログインパスワードを作成しセットアップを行ってから追加してください。

4. カメラの記録をPCに保存しない場合は、何もせず**確認**をクリックします。(カメラのみ)

デバイスを追加

1 確認装置 2 録画を設定 3 完了

PCへの記録を有効にし、記録をPCへ保存します。

PCに記録  有効にする

確認

カメラの記録をPCへ保存する場合は、**PCに記録の有効にする**にチェックを入れ、必要項目を設定のうえ**確認**をクリックします。

✕
3 完了
2 録画を設定
1 確認装置

PCへの記録を有効にし、記録をPCへ保存します。

PCに記録  有効にする

スケジュール 24時間連続録画 変更

保存場所  ブラウズ

空き容量: 114 GB

ストレージ  GB

ループ録画  有効にする

解像度  HQ  LQ

確認

### スケジュール

変更 をクリックすると、カメラの録画映像をPCに記録する期間を設定できます。

### 保存場所

ブラウズ をクリックし、ファイルの保存場所を選択します。

### ストレージ

PCへ保存するためのストレージ容量を設定します。設定するストレージの容量は、PCの空き容量未満にする必要があります。

### ループ録画

チェックボックスをクリックしてループ録画を有効にできます。有効にすると、容量がいっぱいになった際に上書き保存が行われます。

### 解像度

記録する映像の解像度を選択できます。HQは高解像度、LQは低解像度を意味しています。

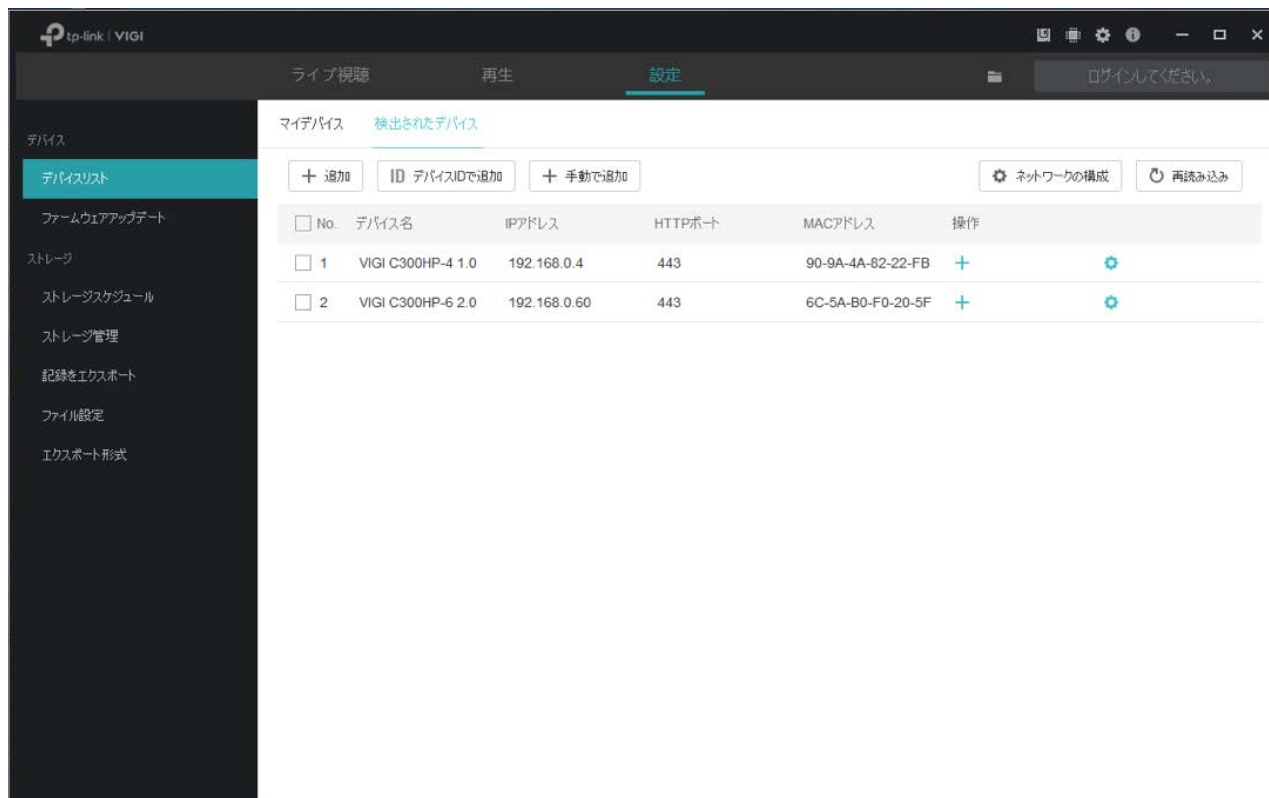
5. デバイスの追加が完了したら**OK**をクリックします。



## 2.1.2 TP-Link IDでログインのうえVIGI Security Managerへデバイスを追加する場合

以下の手順に沿ってデバイスを追加します。

1. **設定 > デバイスリスト > 検出されたデバイス**の順に進み、リストの **+** をクリックします。



⚙️ ネットワークの構成

デバイスのIPアドレス・ゲートウェイ・サブネットマスクを設定します。

🔄 再読み込み

🔄 再読み込み

をクリックするとデバイスリストが更新されます。

2. デバイスのパスワードを入力すると、VIGI Security ManagerがデバイスのIPアドレスとポート番号を自動で検出します。（デフォルトのままです）続いて**認証**をクリックします。

デバイスを追加

1 確認装置 2 完了

デバイスのパスワードとポート番号を入力し、デバイスを追加します。

ユーザー名: admin

パスワード: ●●●●●● パスワードをお忘れの場合

IPアドレス: 192.168.0.4

ポート番号: 443

認証

**Note :**

- カメラにパスワードが設定されていない場合は、追加する前にパスワードとパスワードリセットメールの設定を行い、セキュリティを強化する必要があります。

デバイスを追加

1 確認装置 2 完了

デバイス 1 台にパスワードが設定されていません。セキュリティ強化のためにパスワードを設定してください。

ユーザー名: admin

パスワード: 新しいパスワード

パスワード確認: 新しいパスワードを確認

パスワードリセットメール: Eメール

次

<b>ユーザー名</b>	カメラのユーザー名を表示します。
<b>パスワード</b>	カメラのパスワードを設定します。
<b>パスワード確認</b>	確認のために設定したパスワードをもう一度入力します。
<b>パスワードリセットメール</b>	カメラのパスワードをリセットするためのメールアドレスを入力します。

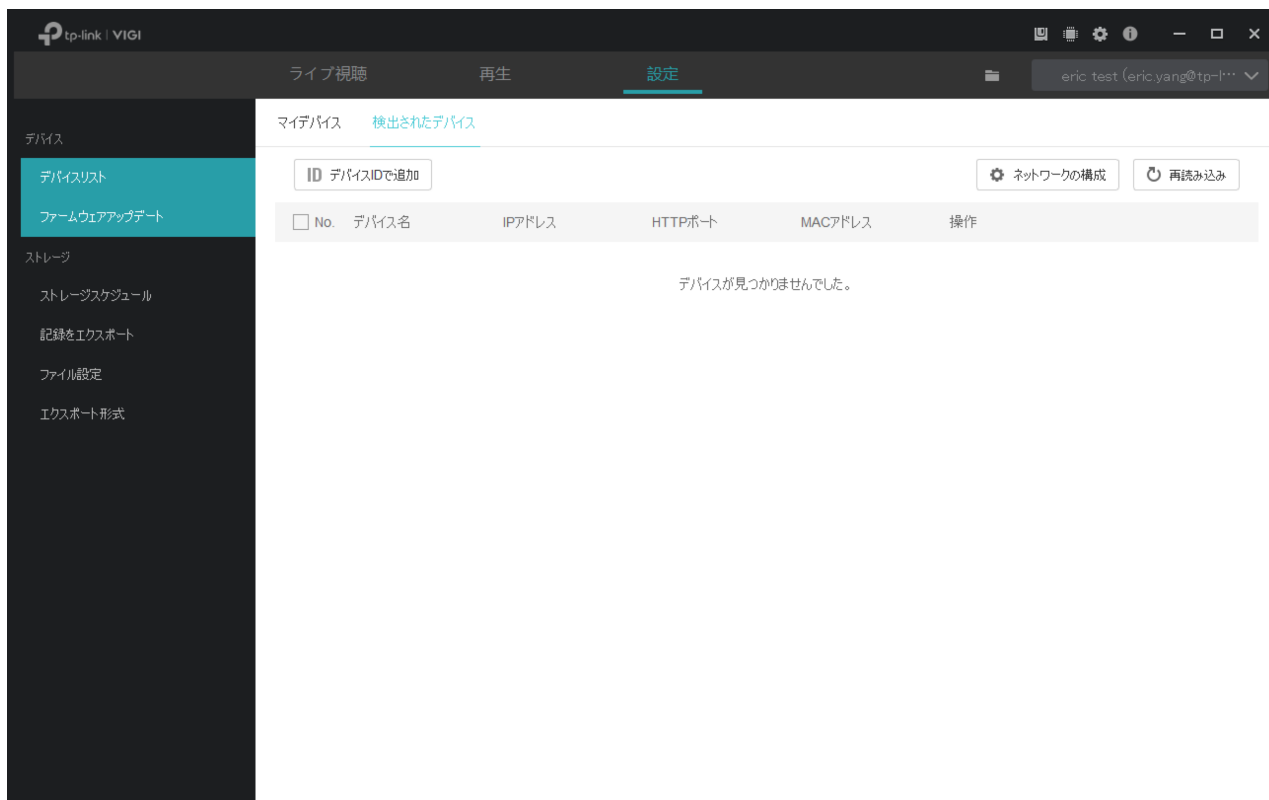
- セットアップが完了していないNVRの場合は、初めにNVR本体のログインパスワードを作成しセットアップを行ってから追加してください。
3. デバイスの追加が完了したら**OK**をクリックします。デバイスとTP-Link IDの紐付けが完了しました。TP-Link IDからログアウトする場合は、デバイスを再度追加する必要があるためご注意ください。



## ♥ 2.2 リモートでデバイスを追加

各VIGI NVRとVIGIセキュリティカメラ本体のラベルにはデバイスIDが印字されています。デバイスとPCが同じサブネット内にはない場合は、このIDを認証することでリモートによる追加が可能です。PCとデバイス全てがインターネットアクセス可能かご確認のうえ、以下手順に沿って進めてください。

1. **設定 > デバイスリスト > 検出されたデバイス**の順に進み **ID デバイスIDで追加** をクリックします。この際、TP-Linkアカウントにログインしていない場合は、初めにTP-Link IDとパスワードでログインをしてください。





2. 製品ラベルに記載されているデバイスIDを入力し、**追加**をクリックします。

### デバイスIDで追加

デバイスでデバイスIDを見つけてください。



tp-link  
Device ID:XXXXX-XXXX-XXXX-XXXX

デバイスID

**追加**

3. デバイスのパスワードを入力し、**認証**をクリックします。

### デバイスを追加

1 確認装置 2 完了

認証用にデバイスのパスワードを入力してください。

ユーザー名

パスワード

ポート番号

**認証**

**Note:**

- カメラにパスワードが設定されていない場合は、追加する前にパスワードとパスワードリセットメールの設定を行い、セキュリティを強化する必要があります。

デバイスを追加

① 確認装置      ② 完了

デバイス 1 台にパスワードが設定されていません。セキュリティ強化のためにパスワードを設定してください。

ユーザー名:

パスワード:

パスワード確認:

パスワードリセットメール:

**次**

<b>ユーザー名</b>	カメラのユーザー名を表示します。
<b>パスワード</b>	カメラのパスワードを設定します。
<b>パスワード確認</b>	確認のために設定したパスワードをもう一度入力します。
<b>パスワードリセットメール</b>	カメラのパスワードをリセットするためのメールアドレスを入力します。

- セットアップが完了していないNVRの場合は、初めにNVR本体のログインパスワードを作成しセットアップを行ってから追加してください。

4. **OK**をクリックします。デバイスとTP-Link IDの紐付けが完了しました。

デバイスを追加

① 確認装置      ② 完了

✓ 追加しました

**OK**

# ③

## TP-Link IDの管理

TP-Link IDを使用すると、複数のプラットフォームでライブ動画の視聴やデバイスのリモート管理が可能です。VIGI Security ManagerにTP-Link IDでログインすることで、IDに紐付けているデバイスを管理できるようになります。

- [TP-Link IDでログイン](#)
- [TP-Link IDの管理](#)
- [パスワードの変更](#)
- [TP-Link IDからログアウト](#)

## ♥ 3.1 TP-Link IDでログイン

VIGI Security Managerのログインには複数のTP-Link IDを使用することができ、いつでもログインアカウントの切り替えが可能です。NVRはログインしたIDに紐付いているデバイスのみを管理できます。

### Note :

- VIGI Security Managerにローカルデバイスを追加している場合、ログイン後にポップアップウィンドウで表示されます。クラウドサービスを介してそれらを管理する場合は、紐付けをクリックすると、ログインしているTP-Link IDにまとめて紐付けることができます。紐付けが不要な場合はキャンセルをクリックしてください。
- ログインすると、VIGI Security Managerで管理しているカメラでは、録画・保存・再生ができません。

### ログイン方法

以下の手順でログインすることができます。

1. 画面右上にある**ログインしてください。**をクリックし、TP-Link IDとパスワードを入力してログインします。**自動ログイン**を有効にしてアカウントを記憶させておくと、アカウントの切り替え時に自動でログインすることが可能です。

×

### ログイン

注意: ログイン後にローカルデバイスを再度追加する必要があります。

自動ログイン パスワードをお忘れですか?

2. オプション：アカウントに関する説明を付け加えることができます。入力した場合は**保存**をクリックしてください。

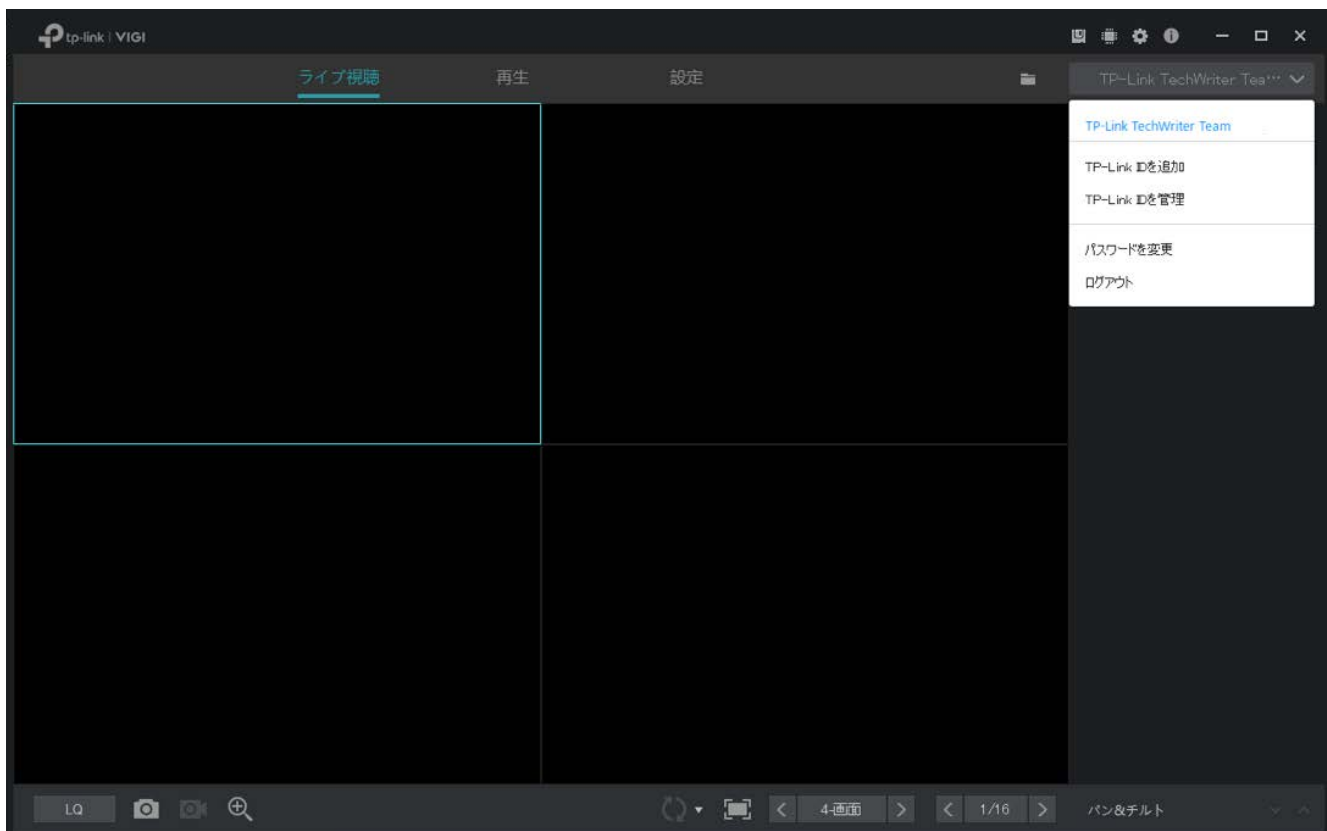
### 説明を追加

TP-Link ID techwriter@tp-link.com.cn

説明

TP-Link IDが多数ある場合、説明があるとTP-Link IDを区別するのに役立ちます。説明はローカルにのみ保存されます。

新しいTP-Link IDでログインする際は、画面右上にあるTP-Link IDをクリックのうえ**TP-Link IDを追加**を選択し、上記手順を行ってください。



### アカウントの切り替え方法

アカウントを切り替える際は、画面右上にあるTP-Link IDをクリックし、リストからアカウントを選びます。自動ログインを有効にしている場合は選択するだけでログインされますが、有効にしていない場合はパスワードの入力が必要です。



## ▼ 3.2 TP-Link IDの管理

アカウントの管理ページでは、アカウント情報の更新・表示順の変更・削除等ができます。

**Note** : ログイン中のアカウントは削除できません。削除する場合は、初めにアカウントの切り替えを行ってください。

以下の手順でTP-Link IDを管理することができます。

1. 画面右上にあるTP-Link IDをクリックし、**TP-Link IDを管理**を選択します。

2. ポップアップウィンドウに表示されているアカウントを選択し、情報を更新したら**保存**をクリックします。各アイコンからは表示順の変更とアカウントの削除が行えます。

合計 1 🗑️ ↑ ↓

TP-Link TechWriter Team

TP-Link ID 12345678@tp-link.com.cn

パスワード

パスワードは自動ログインに使用されます。別のデバイスでパスワードを変更した場合は、新しいパスワードを入力してください。

説明

TP-Link IDが多数ある場合、説明があるとTP-Link IDを区別するのに役立ちます。説明はローカルにのみ保存されます。

**保存**

### パスワード

別のデバイスでパスワードを変更している場合は、この欄に新しいパスワードを入力して認証を行うことで自動ログインが可能になります。

### 説明

このアカウントに関する説明を入力できます。説明はローカルにのみ保存されます。

### ↑ ↓

クリックするとアカウントの表示順が変更できます。

### 🗑️

クリックするとアカウントを削除できます。

## ▼ 3.3 パスワードの変更

TP-Link IDのパスワードを変更する場合は、初めに変更したいTP-Link IDでログインをしてください。画面右上にあるIDをクリックし、**パスワードを変更**を選択したら、現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、**保存**をクリックします。



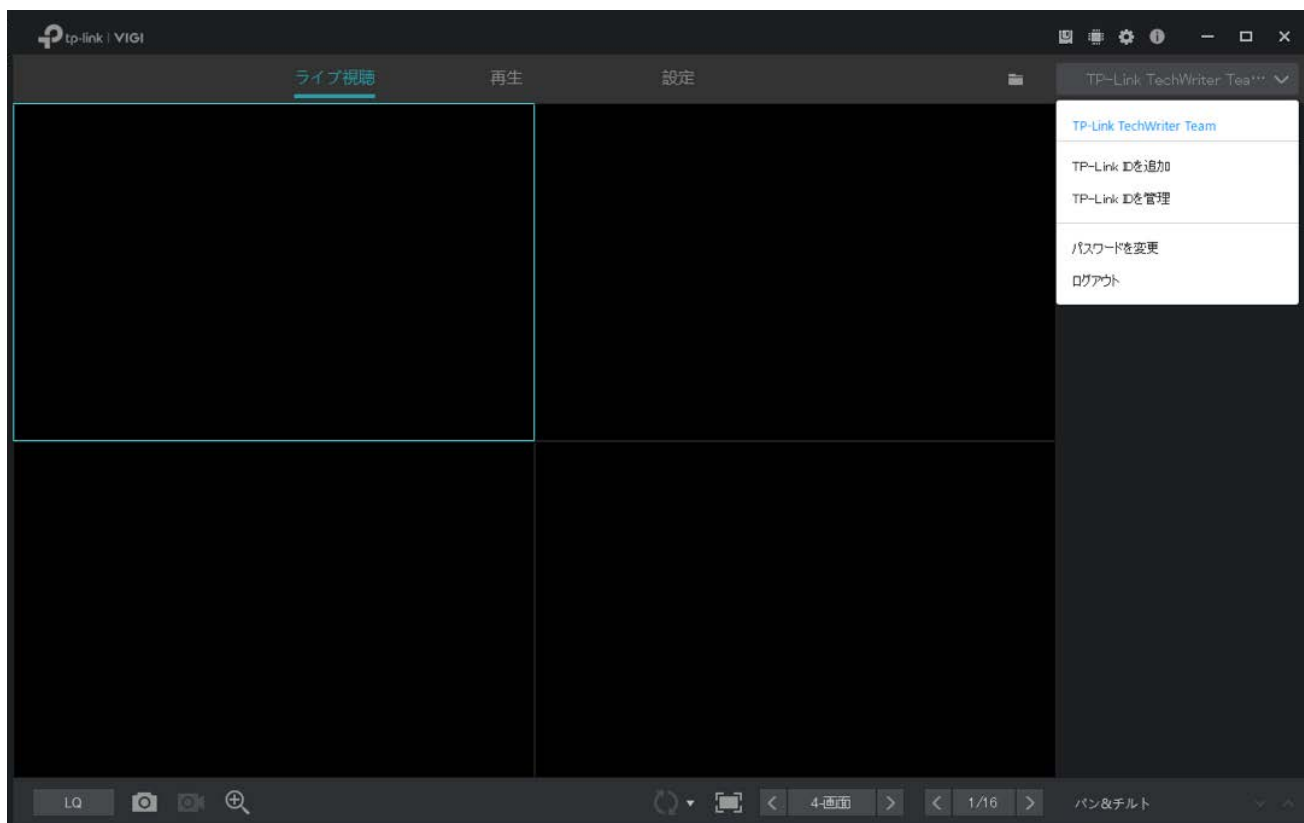
The image shows a modal dialog box titled "パスワードを変更" (Change Password) with a close button (X) in the top right corner. It contains three input fields, each with a placeholder and a clear button (X):

- 古いパスワード (Old Password): パスワード
- 新しいパスワード (New Password): 新しいパスワード
- 新しいパスワードを確認 (Confirm New Password): 新しいパスワードを確認

At the bottom of the dialog is a teal button labeled "保存" (Save).

## ▼ 3.4 TP-Link IDからログアウト

現在のアカウントからログアウトする場合は、画面右上にあるTP-Link IDをクリックし、**ログアウト**を選択します。





# 4

## ライブ視聴

ライブ視聴では、リアルタイムでチャンネルを監視でき、異常発生時に録画の開始や映像のズームイン等をして素早く対応することが可能です。

- [画面表示の設定](#)
- [ライブ視聴の設定](#)
- [グループの追加と管理](#)

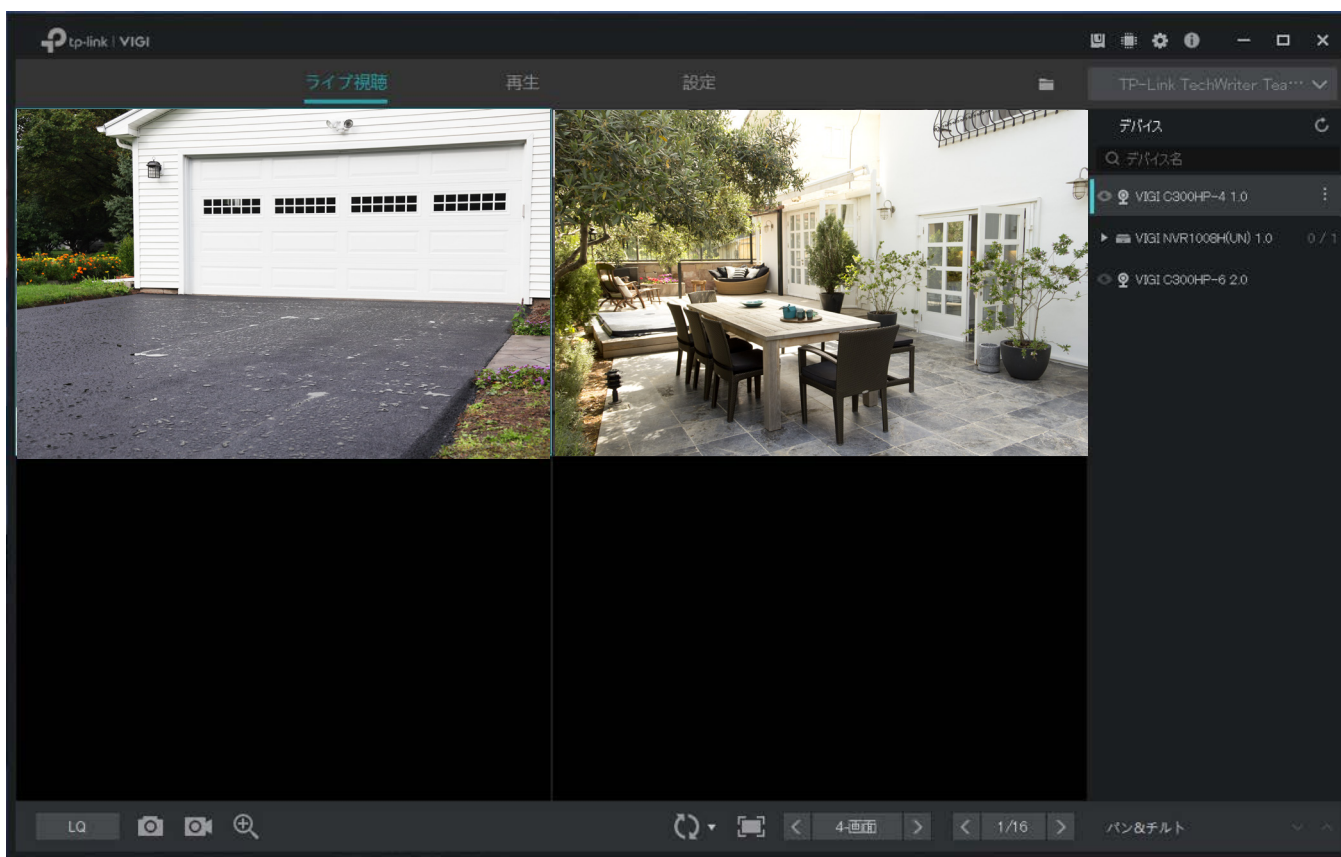
## ♥ 4.1 画面表示の設定

### 4.1.1 ライブ視聴の有効/無効

VIGI Security Managerでは、複数画面で各チャンネルの動画を表示します。以下手順からチャンネルのライブ視聴機能を有効/無効にし、リアルタイムの動画を柔軟に確認することができます。

#### チャンネルごとに有効/無効にする場合

チャンネルごとにライブ視聴を有効にする場合は、ライブ視聴画面の右側に表示されている一覧からチャンネルを選択します。

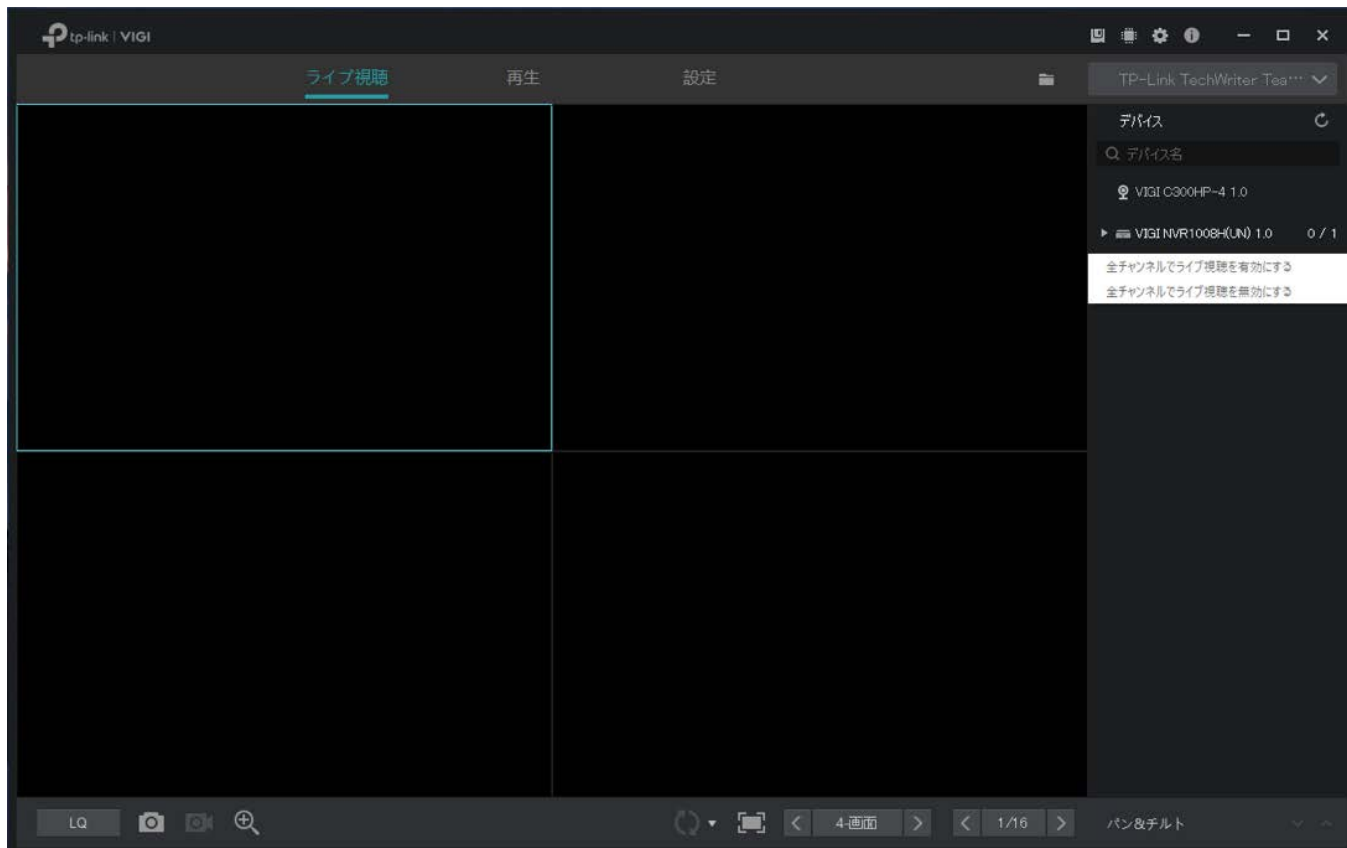


無効にする場合は、各チャンネルのライブ視聴画面にマウスオーバーし、**✕**をクリックします。

#### 一括で有効/無効にする場合

NVRによって管理されている、またはグループに追加されているカメラでは、複数のチャンネルをまとめて有効/無効にすることができます。グループの作成方法は、[4.3グループの追加と管理](#)をご参照ください。

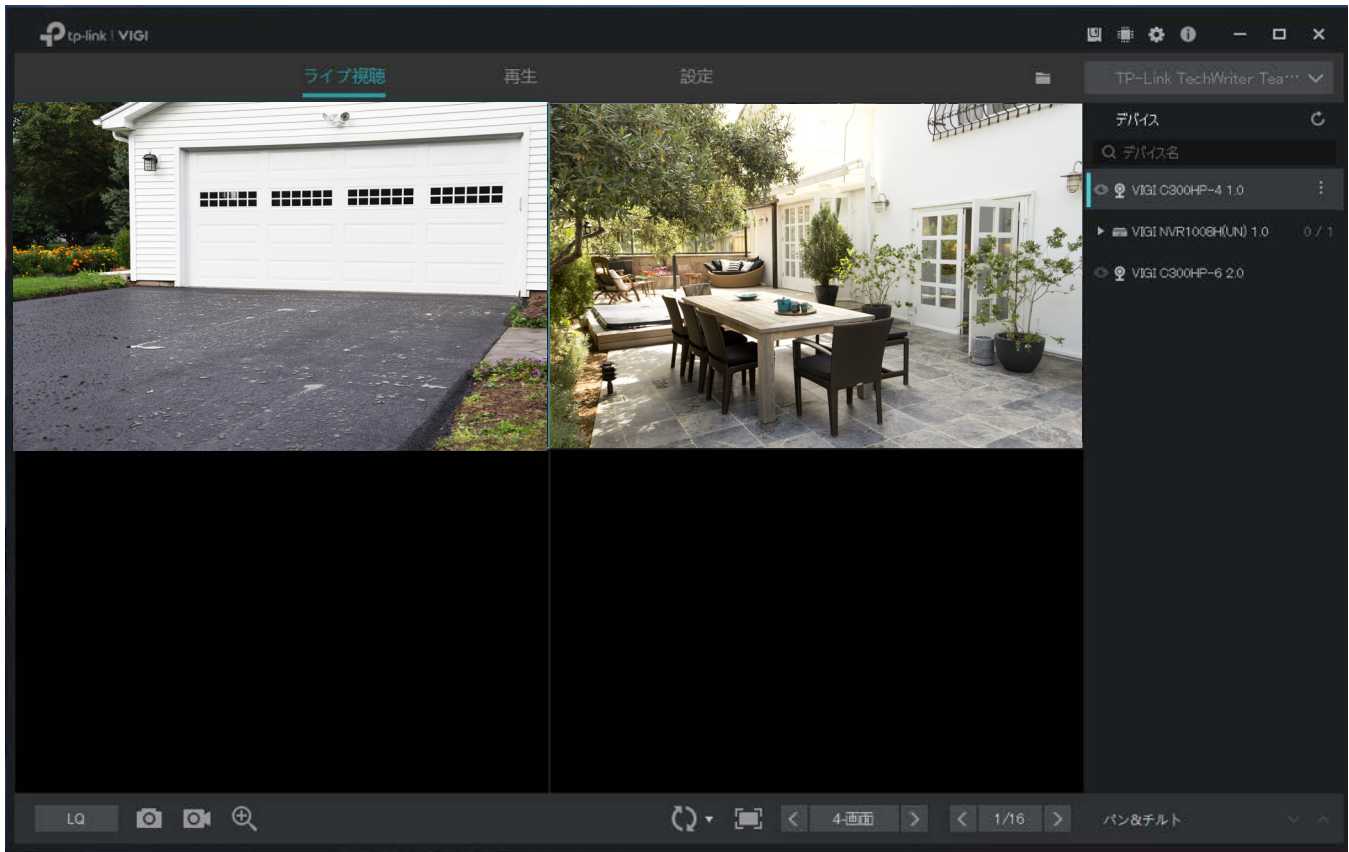
ライブ視聴画面の右側に表示されている一覧からNVRまたはグループを右クリックし、**全チャンネルでライブ視聴を有効にする**を選択します。NVRで管理されている/グループに追加されている全チャンネルのライブ視聴が有効になります。



一括で無効にする場合は、ライブ視聴画面の右側に表示されている一覧からNVRまたはグループを右クリックし、**全チャンネルでライブ視聴を無効にする**を選択します。

### 4.1.2 レイアウトの変更

VIGI Security Managerでは10パターンのレイアウトに対応しており、各モードによって表示される画面数が異なります。< 4-画面 > をクリックするとモードを選択でき、< 1/16 > をクリックするとページを変更できます。

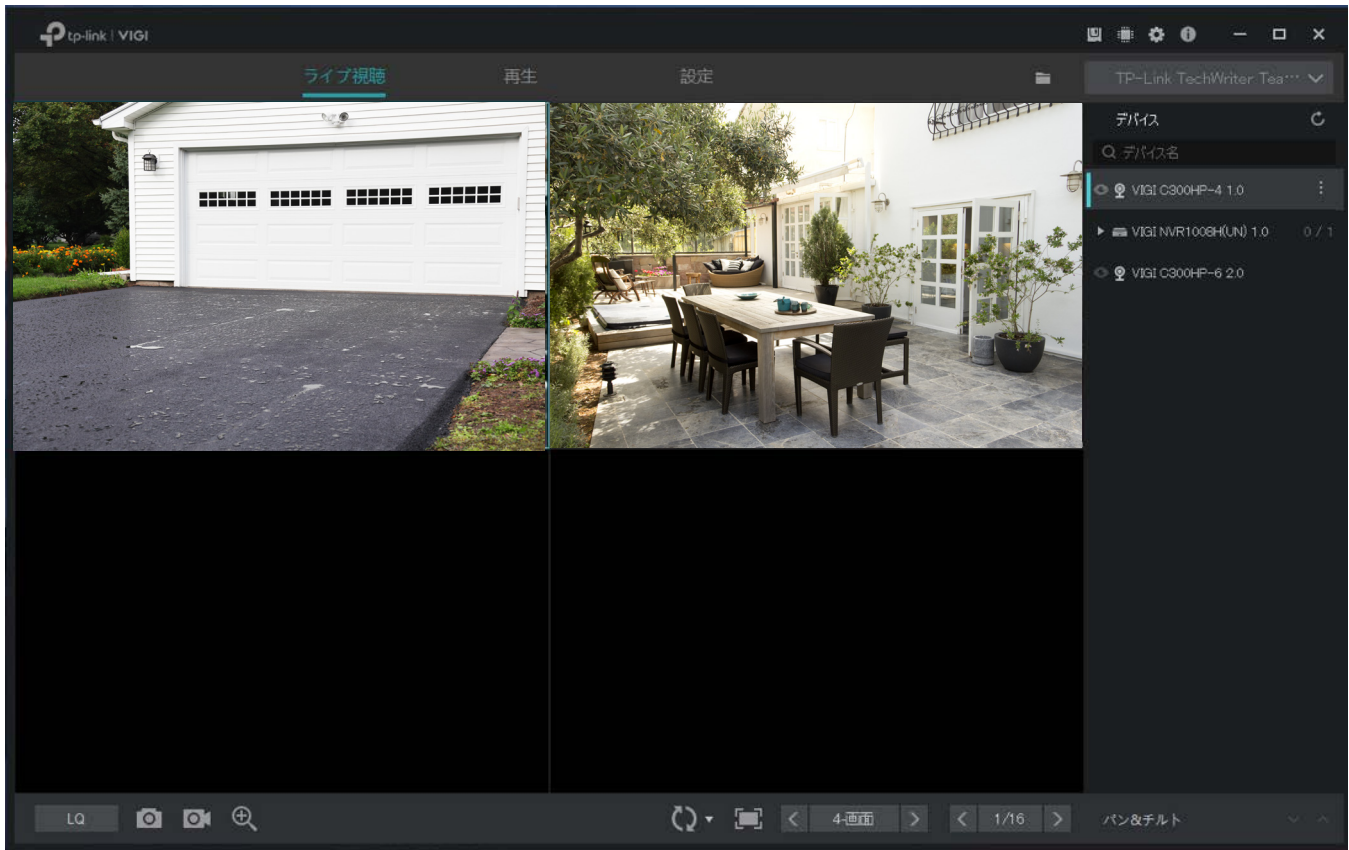


複数画面表示のレイアウトモードを選択している場合、各チャンネルをドラッグすることで表示位置を変更することができます。ダブルクリックをすると全画面表示の切り替えが可能です。

## ♥ 4.2 ライブ視聴の設定

### 4.2.1 ツールバーの使い方

ライブ視聴画面にあるツールバーからは、スクリーンショット・ズーム・画面切り替え等、アイコンをクリックして次のような操作を行えます。




HQ

クリックすると高画質(HQ)と低画質(LQ)の切り替えができます。




クリックすると音声をオン/オフできます。(一部カメラのみ)



クリックするとスクリーンショットを撮影できます。録画データを確認する場合は、ライブ視聴画面右上にある  をクリックしてください。保存先の変更方法は[6.4ファイル設定](#)をご参照ください。




クリックすると録画を開始/停止できます。録画データを確認する場合は、ライブ視聴画面右上にある  をクリックしてください。保存先の変更方法は[6.4ファイル設定](#)をご参照ください。



クリックするとカメラの首振りができます。任意の位置に調整したプリセットを呼び出すことも可能です。(パン&チルト対応カメラのみ)




 を長押しすると、カメラの前にいる人とリアルタイムで会話をすることができます。（マイク搭載カメラのみ）



クリックするとカーソルが虫眼鏡に変わります。マウスのホイールボタンを上向きにスクロール/左クリックするとズームイン、下向きにスクロール/右クリックするとズームアウトします。



 をクリックするとページの自動切換えを開始できます。映像が複数のページで表示されている場合、ライブ視聴画面のページを一定の間隔で切り替えることが可能です。

 をクリックするとページの自動切換えを停止できます。

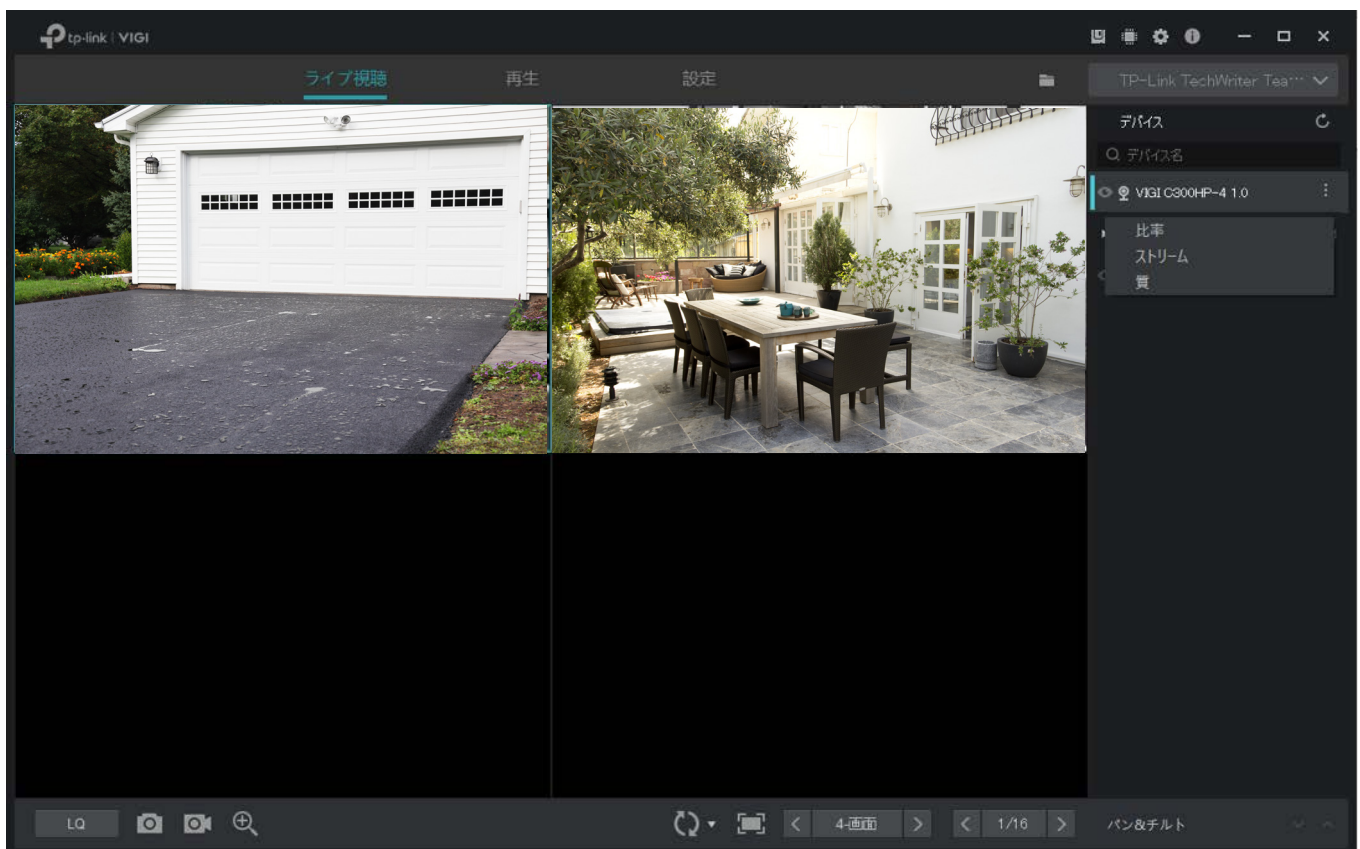
切り替え間隔を変更する場合は、三角形のマークをクリックして値を入力するか、ポインタをドラッグして設定することができます。



クリックすると動画を全画面表示できます。

## 4.2.2 カメラ1台のライブ視聴設定

画面右側のパネルからカメラ1台を右クリックして、チャンネルのアスペクト比・ストリーミング・画質を設定します。



### 比率

クリックしてアスペクト比を調整します。**100%**を選択すると、画面はVIGI NVR Managerのサイズに合うように自動調整されます。

**ストリーム**

クリックして、このチャンネルにメインストリームまたはサブストリームを適用します。適用すると、ライブ視聴映像の画質とスムーズさに影響を与える可能性があります。ストリーム設定の詳細は、[7.4.1ストリーム設定](#)をご参照ください。

**質**

クリックすると高画質 (HQ) と低画質 (LQ) の切り替えができます。

## ▼ 4.3 グループの追加と管理

### 4.3.1 グループの追加

メイングループとサブグループは、チャンネルを分類してより手軽な管理をするのに役立ちます。グループごとに各チャンネルのライブ視聴を一括で有効/無効にすることが可能です。

**Note:** グループでライブ視聴を有効/無効にしても、サブグループには適用されません。

以下の手順に沿ってグループを追加します。

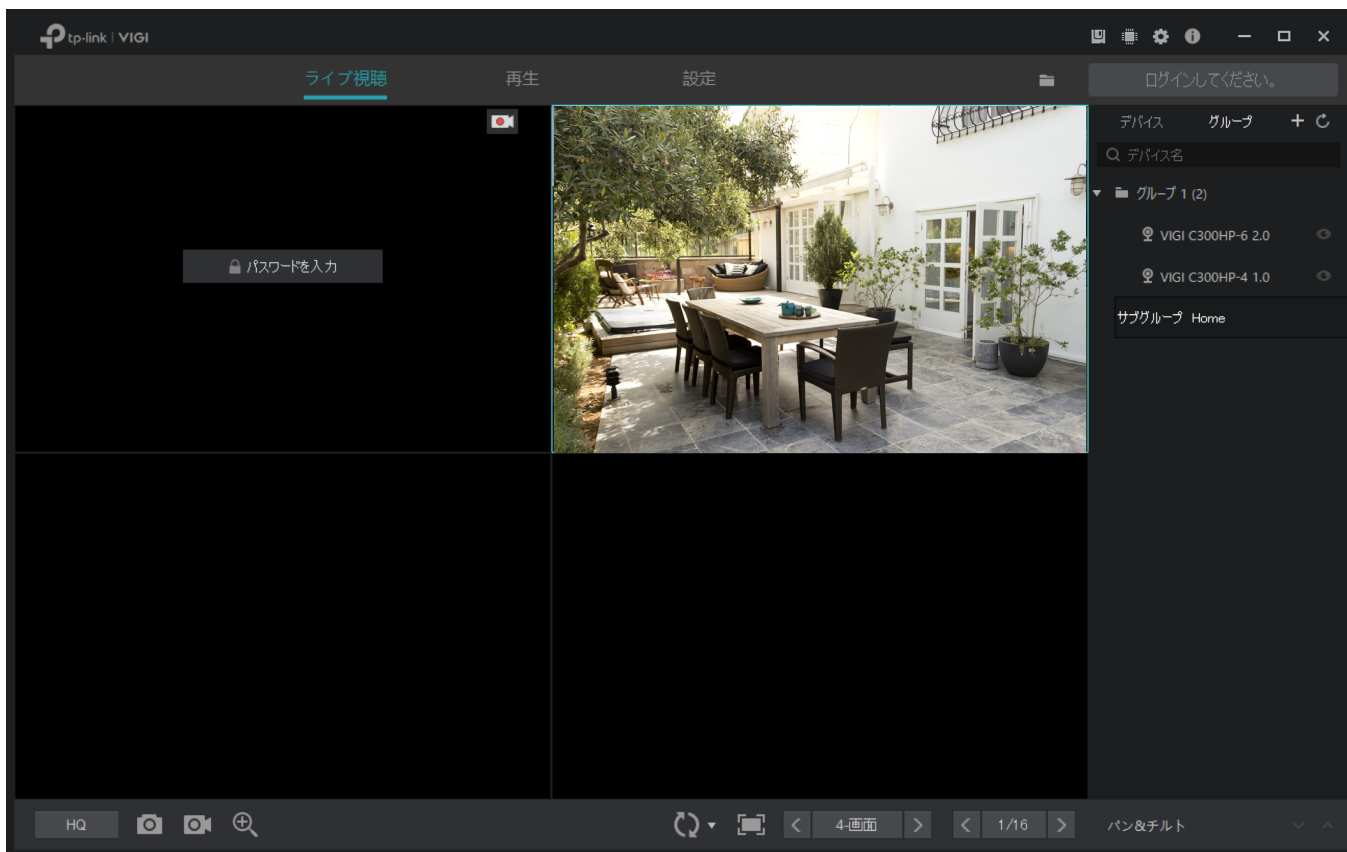
#### メイングループを追加

グループを追加する場合は、**グループ**をクリックしてから右側にある **+** をクリックします。グループ名を入力し、「利用可能なチャンネル」に表示されている中からチャンネルを選択のうえ**追加**をクリックします。**上**または**下**をクリックして表示順を調整したり、**削除**をクリックしてグループから削除したりすることができます。操作が完了したら**確認**をクリックして、メイングループを追加します。



## サブグループを追加

サブグループを追加する場合は、**グループ**をクリックのうえ表示されるグループを右クリックします。**サブグループを追加**を選択して名前を入力すると、メイングループのチャンネルをサブグループにドラッグすることができます。



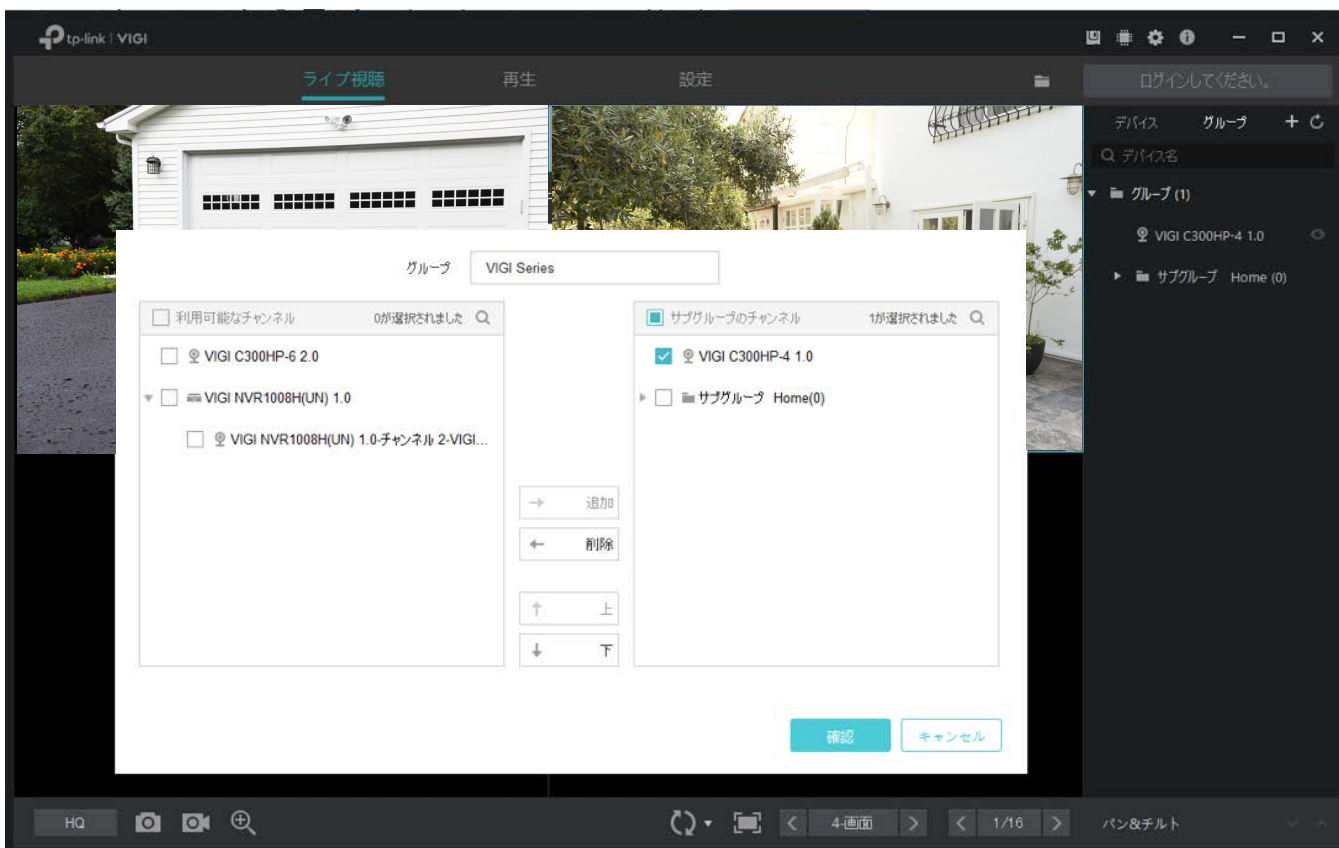
### 4.3.2 グループの管理

#### グループ内のチャンネルを管理

1つのチャンネルを他のグループに移動したり、リスト内の順序を変更したりする場合は、チャンネルをドラッグして移動させます。

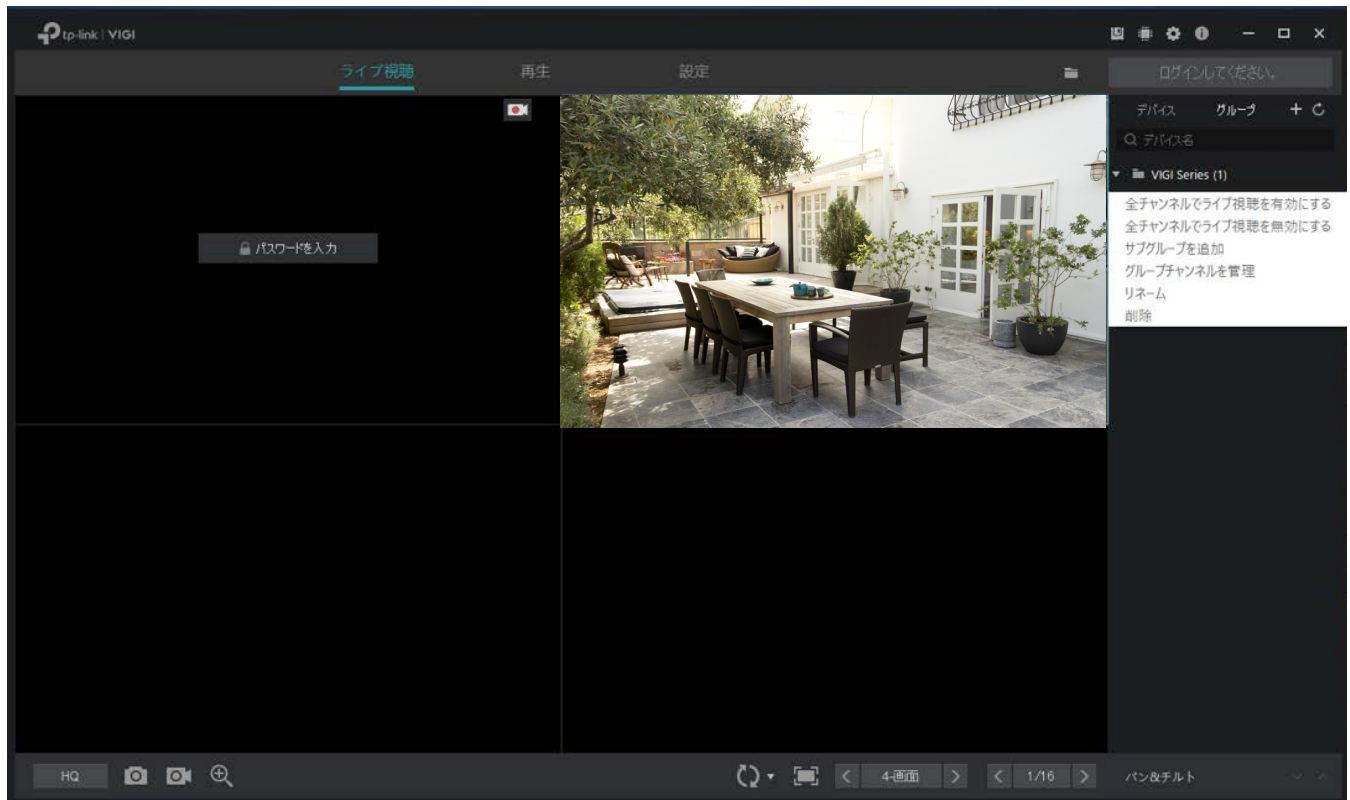


複数のチャンネルを管理する場合は、**グループ**をクリックのうえ表示されるグループを右クリックして**グループチャンネルを管理**を選択します。グループ内で追加・削除・並べ替えるチャンネルを選択し、**確認**をクリックします。



## グループ名の変更

グループ名を変更する場合は、**グループ**をクリックのうえ表示されるグループを右クリックします。**リネーム**を選択して名前を入力します。



## グループの削除

グループを削除する場合は、グループをクリックのうえ表示されるグループを右クリックし、**削除**を選択します。

# 5

## 動画の再生

録画映像の再生の他、スクリーンショットの撮影や動画クリップのエクスポート等を行うことができます。記録はチャンネル・日付・録画タイプから探すことが可能です。

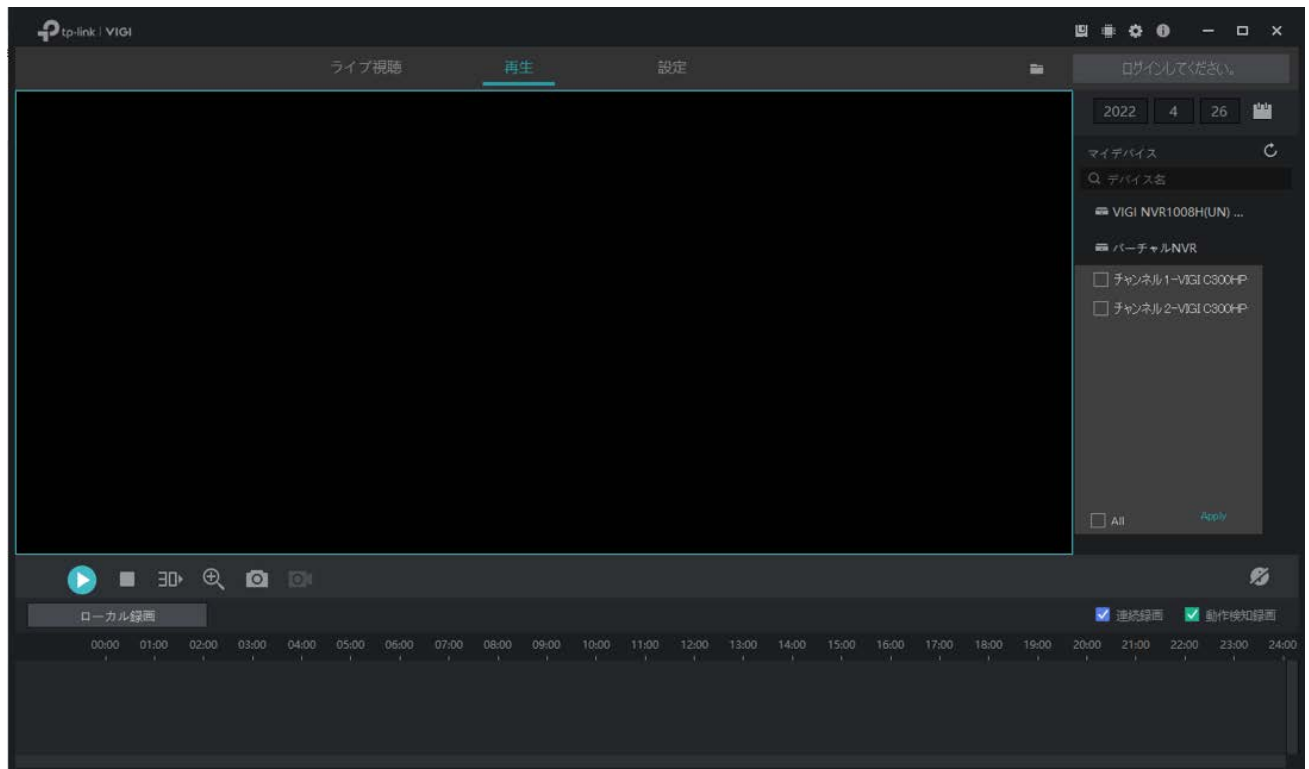
- [録画映像の再生](#)
- [再生ページの操作方法](#)

## ♥ 5.1 録画映像の再生

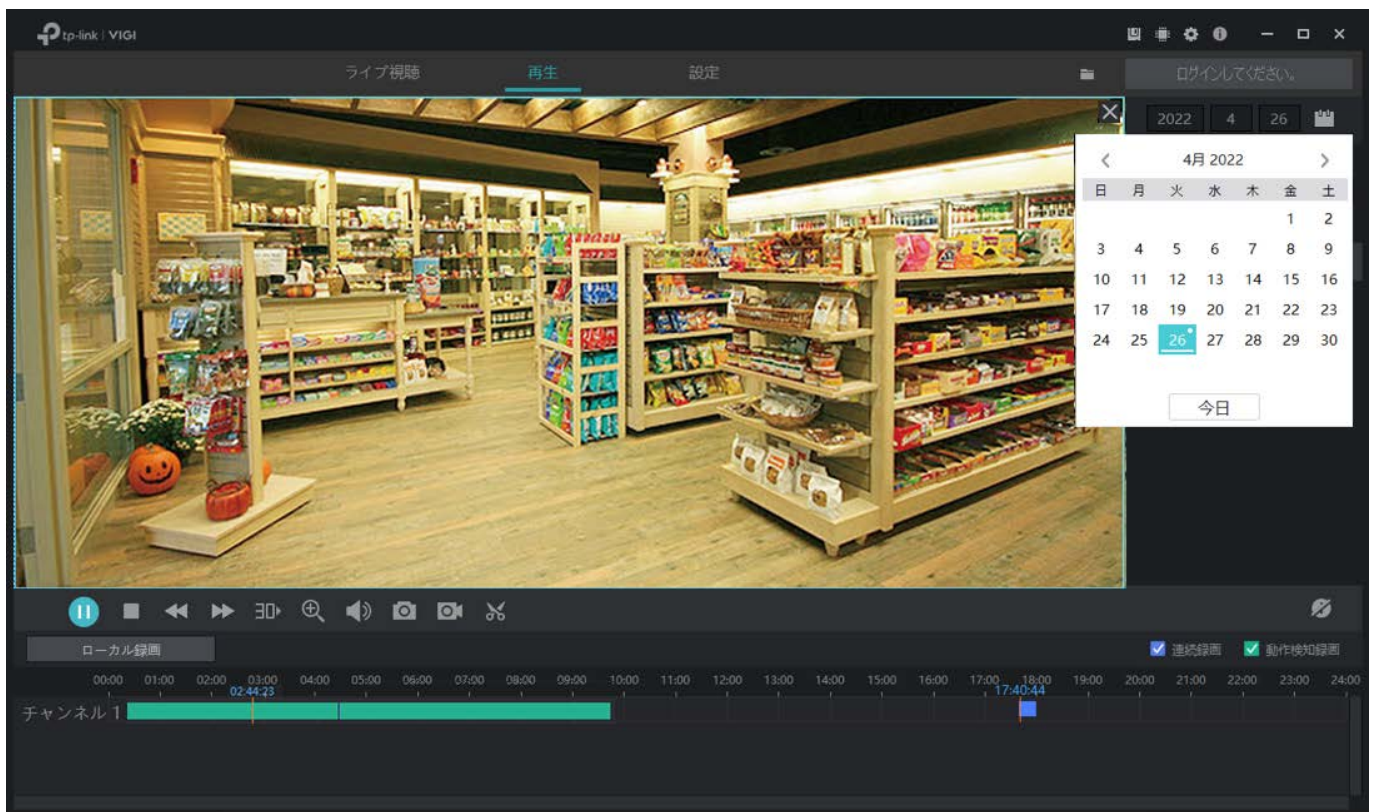
以下の手順に沿って再生を行います。

1. 再生画面の右側にあるパネルからNVR、チャンネルの順に選択し**Apply**をクリックします。

**Note** : VIGI Security Managerから直接管理されているカメラは全てバーチャルNVRに一覧表示されます。録画映像は、ホストがローカルで管理している場合にのみ再生可能です。



2. カレンダーから日付を選択します。日付についている青い点は、その日に録画が行われたことを意味しています。

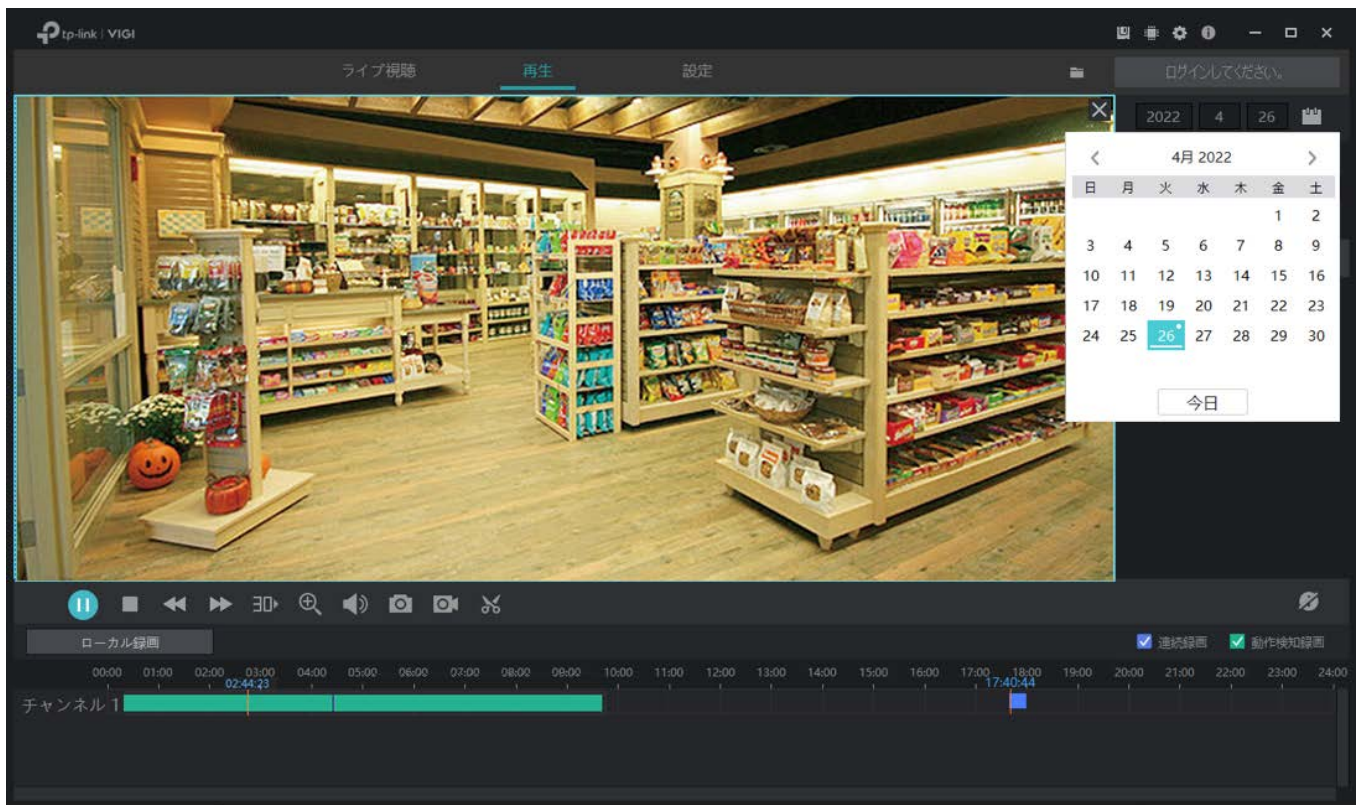


3. (オプション) **連続録画**と**動作検知録画**のチェックボックスをクリックして録画タイプを選択することができます。

## ▼ 5.2 再生ページの操作方法

再生画面の下部にあるツールバーとタイムバーから、表示画面の調整・編集・記録のエクスポート等が行えます。

## 5.2.1 基本操作



クリックすると映像が巻き戻しされます。もう一度クリックすると停止します。



クリックすると映像が早送りされます。もう一度クリックすると停止します。



30秒スキップします。



ドロップダウンリストから再生速度を選択できます。




クリックするとカーソルが虫眼鏡に変わります。マウスのホイールボタンを上向きにスクロール/左クリックするとズームイン、下向きにスクロール/右クリックするとズームアウトします。




クリックすると音声をオン/オフできます。



クリックするとスクリーンショットを撮影できます。撮影したデータを確認する場合は、画面右上にあるをクリックしてください。保存先の変更方法は [6.4ファイルの設定](#) をご参照ください。




クリックすると録画を開始/停止できます。録画データを確認する場合は、画面右上にあるをクリックしてください。保存先の変更方法は [6.4ファイルの設定](#) をご参照ください。

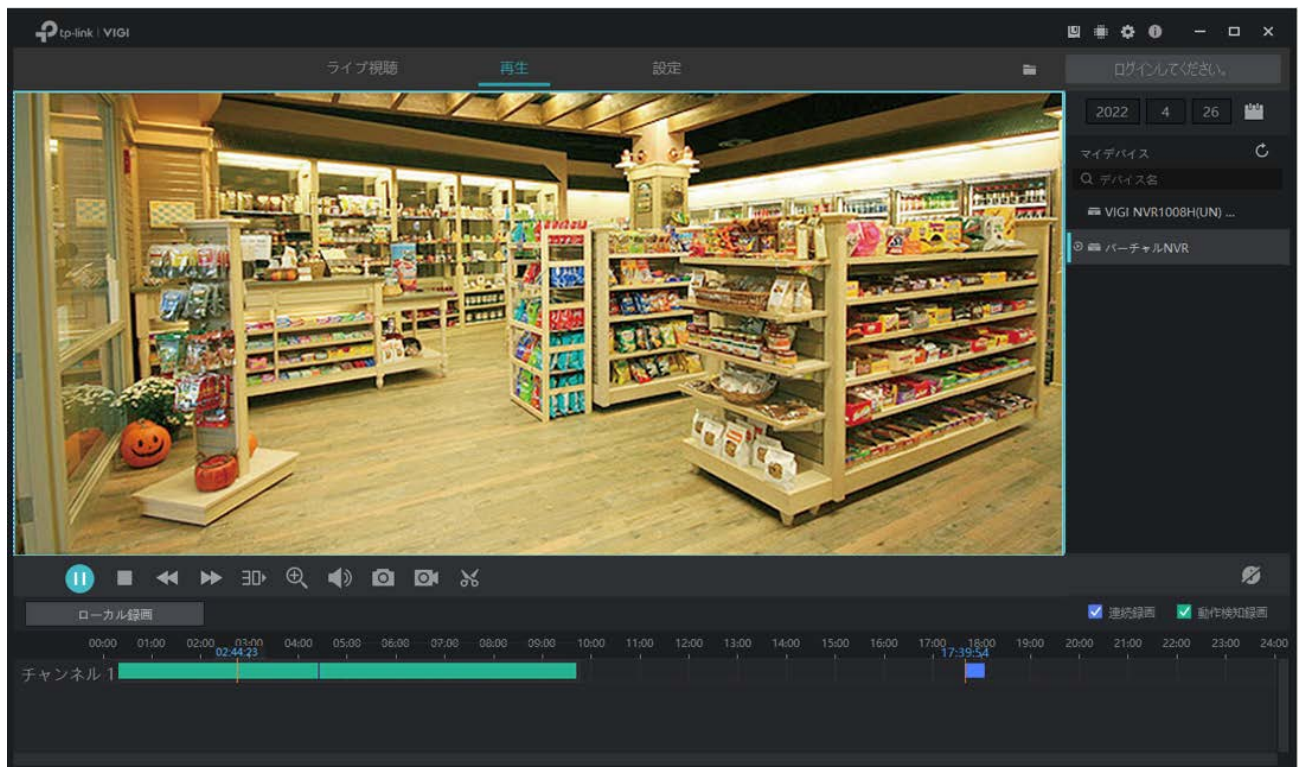


クリックすると再生中のチャンネル番号を表示/非表示できます。

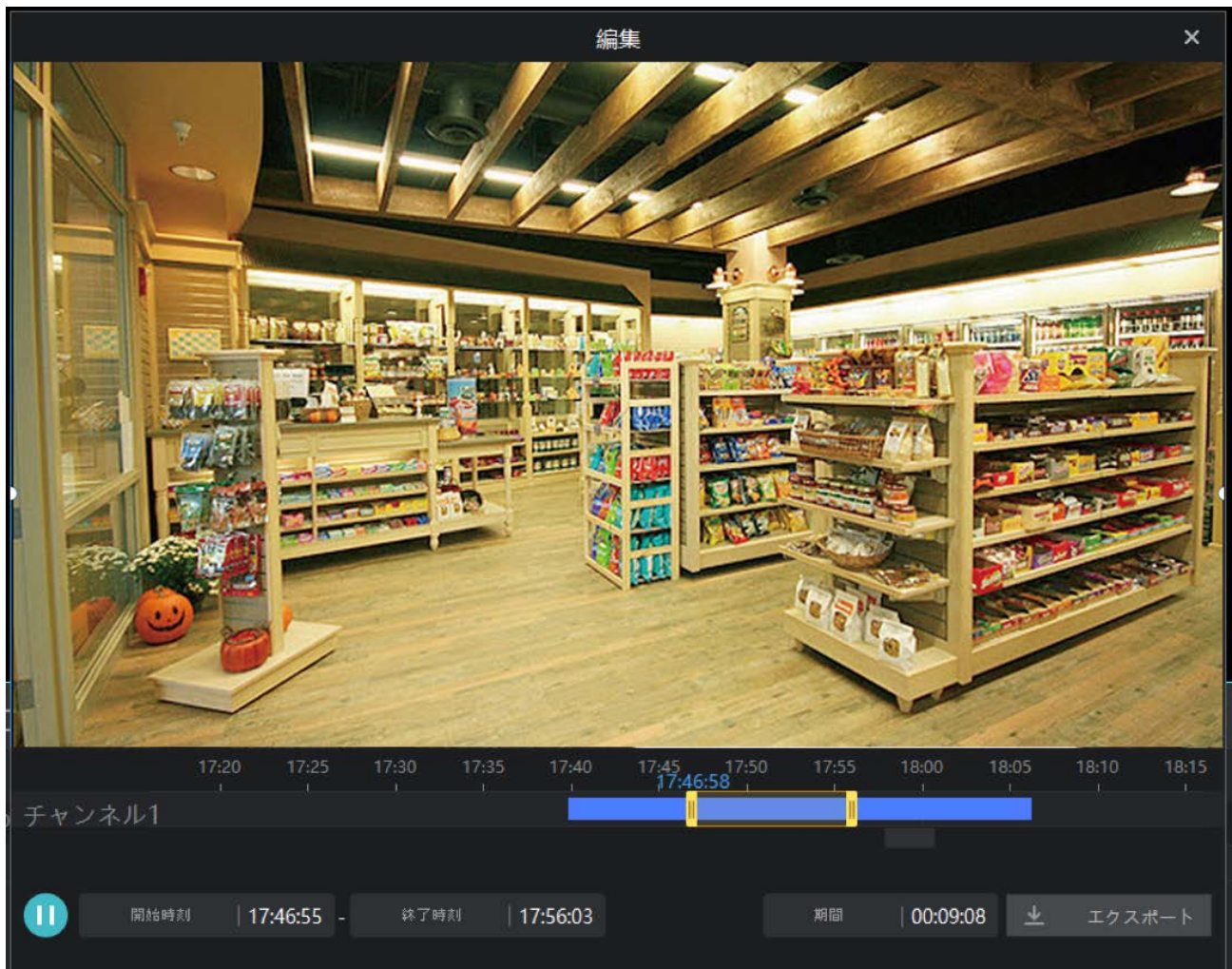
## 5.2.2 録画映像の編集

以下の手順に沿って動画ファイルをクリップします。

1. 再生画面では、チャンネルと日付を指定して、タイムバーに録画を一覧表示できます。  
 をクリックしてください。

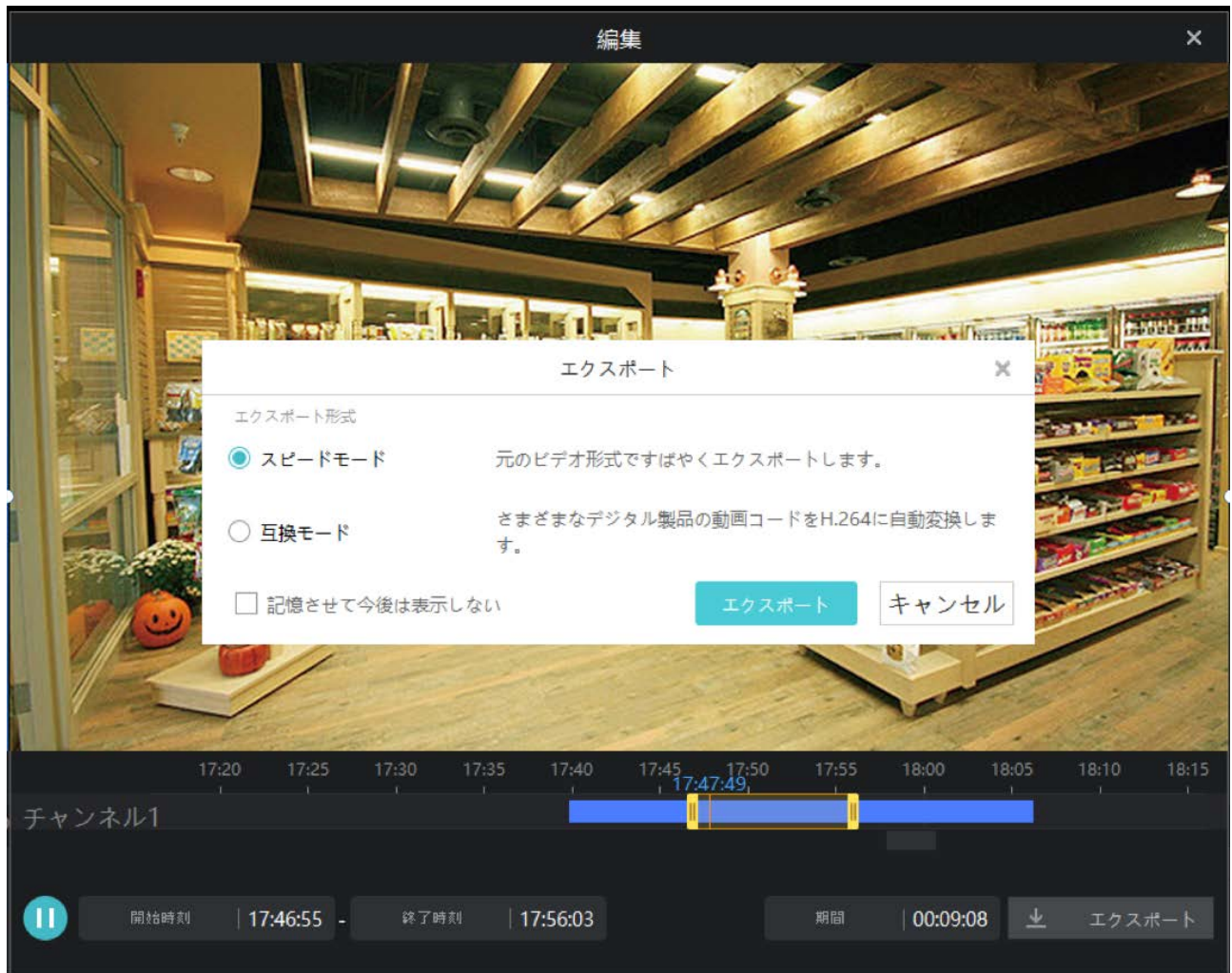


2. タイムバー上にある **|** を動かすか、画面下の開始時刻と終了時刻を入力して録画の長さを調整します。タイムバー上でマウスのホイールボタンを上下させると表示する時間範囲の調整が可能です。続いて**エクスポート**をクリックします。





3. エクスポート形式を選択して**エクスポート**をクリックします。



**Note** : **記憶させて今後は表示しない**をクリックするか、設定からエクスポート形式を設定するとこのウィンドウは表示されなくなります。詳細は [6.5 エクスポート形式](#) をご参照ください。

# ⑥

## 録画&ストレージ

この章では、録画のエクスポート方法と、カメラの録画とストレージ設定について説明します。VIGI Security Managerを使用すると、録画スケジュールのテンプレートを設定したり、テンプレートを様々なカメラに適用させたりすることができます。録画やエクスポートしたファイルのストレージ設定を確認・構成することも可能です。

- [カメラ1台のスケジュールを設定する](#)
- [ストレージ管理](#)
- [記録をエクスポート](#)
- [ファイル設定](#)
- [エクスポート形式](#)

## ♥ 6.1 カメラ1台のスケジュールを設定する

ストレージスケジュールのページは、デバイスを日々モニタリングするのに役立ちます。1台のカメラに対して録画スケジュールやストレージ設定をカスタマイズして有効にすることができ、**設定 > ストレージスケジュール**から設定を変更可能です。

**Note** : TP-Link IDでログイン中はカメラのスケジュールを調整できません。設定を変更する際は、いったんログアウトをしてデバイスをローカルで管理する必要があります。



≡ フィルター

**PCに記録** : 記録がPCに保存されているカメラを表示します。

**SDカードに記録** : 記録がSDカードに保存されているカメラを表示します。

🗑️ 一括操作

全カメラでPCへの記録を有効/無効にします。

📄 スケジュールテンプレートを編集

クリックすると録画のスケジュールテンプレートを編集できます。

🔄 再読み込み

クリックするとカメラリストが更新されます。

### 6.1.1 スケジュールテンプレートの編集

保存スケジュールにはそれぞれ4つの固定テンプレートとカスタムテンプレートがあります。**ストレージスケジュール**の右上にある **📄 スケジュールテンプレートを編集** をクリックしてスケジュールテンプレートを編集します。

## ■ 24時間録画

24時間常に録画します。



## ■ 24時間動作検知

24時間動作検知した際に録画します。



## ■ 平日の録画：12時間

平日の8:00～20:00に連続して録画します。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for 'スケジュール' (Schedule) in the TP-Link VIGI interface. The '平日の録画：12時間' (Daily 12-hour recording) template is selected. The recording schedule is visualized as follows:

曜日	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
月					■	■	■	■	■	■	■		
火					■	■	■	■	■	■	■		
水					■	■	■	■	■	■	■		
木					■	■	■	■	■	■	■		
金					■	■	■	■	■	■	■		
土													
日													

## ■ 24時間週末録画

週末に24時間常に録画します。

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for 'スケジュール' (Schedule) in the TP-Link VIGI interface. The '24時間週末録画' (24-hour weekend recording) template is selected. The recording schedule is visualized as follows:

曜日	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
月													
火													
水													
木													
金													
土	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

## ■ スケジュールをカスタム

必要に応じて録画スケジュールをカスタマイズすることができます。

例：平日の5:00～16:00で動作検知録画/週末の1:30～23:00に連続録画

以下の手順に沿って設定可能です。

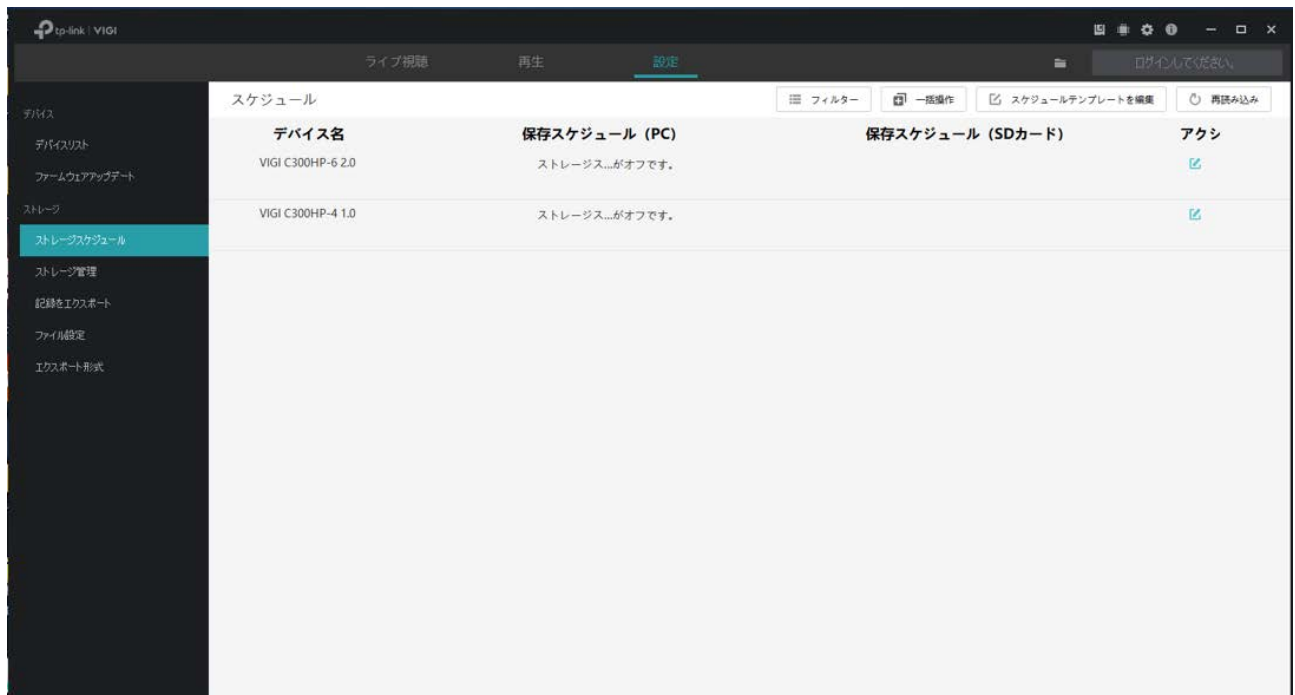
1. カスタムテンプレート（カスタム1）を選択します。
2. **動作検知**を選択して、タイムバー上でカーソルをドラッグしながら月～金曜日の5:00から16:00までを動作検知録画に設定します。選択すると緑色に塗りつぶされます。
3. **連続録画**を選択して、タイムバー上でカーソルをドラッグしながら土曜日と日曜日の1:30から23:00までを連続録画に設定します。選択すると青く塗りつぶされます。開始時刻と終了時刻を手動で入力する場合は、カーソルをドラッグした後に塗りつぶされた部分をクリックします。
4. **保存**をクリックします。



### 6.1.2 ストレージ設定

カメラをVIGI Security Managerに追加する際、録画機能を有効にしていない場合は以下の手順に沿ってストレージ設定を行ってください。設定済みの場合は、このセクションをスキップして構いません。

1. リストからカメラを選んでクリックします。



2. **PCの記録を有効にする** をクリックしてストレージ設定を行います。



3. リストからカメラを選んでクリックします。

### スケジュール

**変更**

をクリックして、PCへの録画スケジュールをカスタマイズします。

### 保存場所

**ブラウズ**

をクリックし、ファイルの保存場所を選択します。

### ストレージ

PCに保存するストレージ容量を設定します。

### ループ録画

チェックボックスをクリックするとループ録画が有効になります。

### 解像度

記録する映像の解像度を選択できます。HQは高解像度、LQは低解像度を意味しています。


4. **確認**をクリックします。

## 6.1.3 録画スケジュールの設定&ストレージ設定の確認

ストレージ設定を確認し、VIGI Security Managerに直接追加したカメラに、スケジュールテンプレートを適用することができます。

**Note:** カメラを後からNVRに追加した場合、VIGI Security Managerで設定したそのカメラの録画スケジュールは同期されません。

カメラに録画スケジュールを適用する場合は、以下の手順で行ってください：

1. **設定 > ストレージスケジュール**と進み、設定するカメラをクリックします。
2. **PCに記録**を有効にします。
3.  **テンプレートを使用** をクリックしてスケジュールテンプレートを選択します。

**Note :** 動作検知のスケジュールを適用できるのは動作検知機能に対応したカメラのみです。

4. ストレージと録画の設定を行います。

### 保存場所

録画の保存先を表示します。

**ブラウズ**をクリックすると、ファイルの保存先を確認できます。

### ストレージ

カメラの録画保存に割り当てられた容量を表示します。

**記録を消去**をクリックすると、PCに保存されている全録画記録が削除されます。

### ループ録画

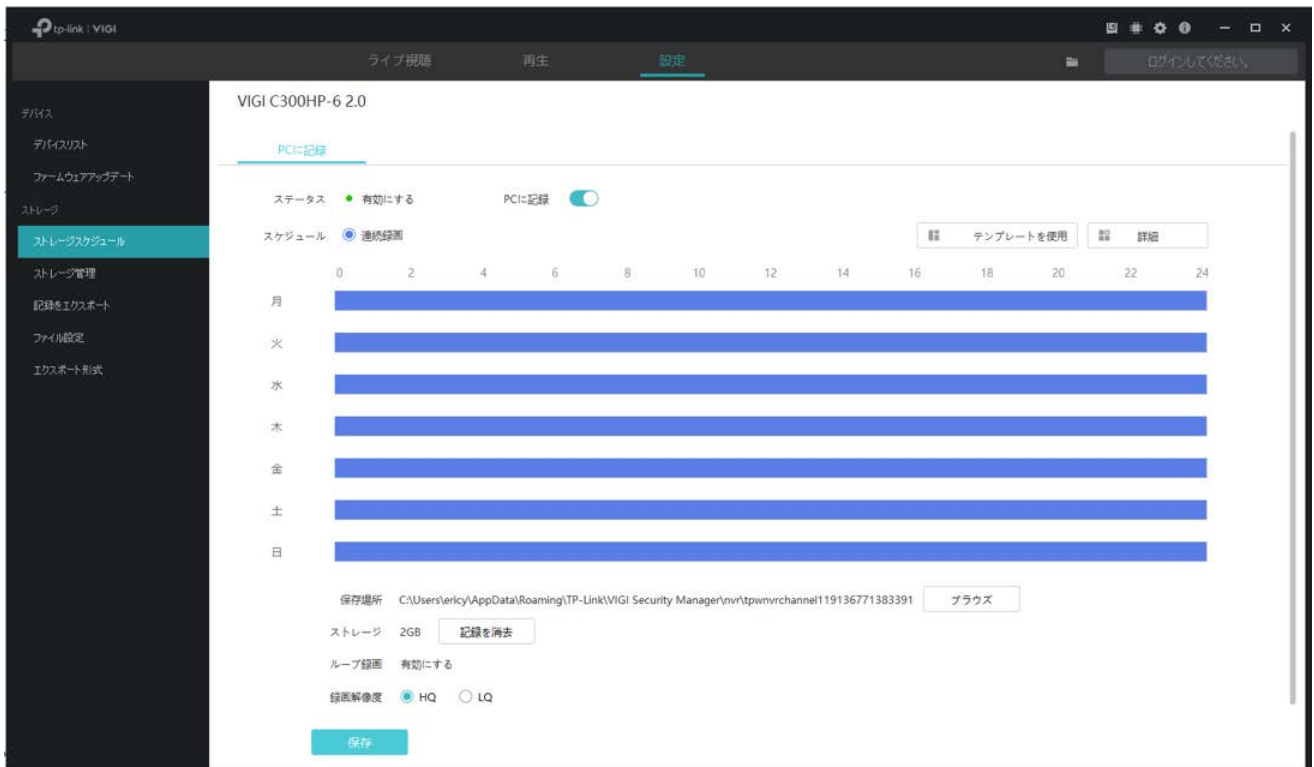
ループ録画の状態を表示します。

### 録画解像度

記録する映像の解像度を選択できます。HQは高解像度、LQは低解像度を意味しています。



## 5. 保存をクリックします。



## ▼ 6.2 ストレージ管理

VIGI Security Managerに直接追加したカメラのストレージ設定を確認する場合は、**設定 > ストレージ管理**の順でクリックします。

**Note:** TP-Link IDでログイン中はストレージ設定を変更できません。変更する際は、いったんログアウトをしてデバイスをローカルで管理する必要があります。



### デバイス

カメラの名前を表示します。

### 保存場所

録画の保存先を表示します。

### 総ストレージ容量

録画データを保存するための容量を表示します。

### ループ録画を有効にしますか？

ループ録画の状態を表示します。

### 記録を消去

クリックするとPCに保存されている全録画が削除されます。

## ▼ 6.3 記録をエクスポート

NVRやカメラの録画をエクスポートする場合は、**設定 > ストレージ > 記録をエクスポート**の順でクリックし、次の手順で行います。

**Note :** TP-Link IDでログイン中はエクスポートできません。録画をエクスポートする際は、いったんログアウトをしてデバイスをローカルで管理する必要があります。

## ■ NVRから録画をエクスポート

1. ドロップダウンリストからNVRとチャンネルを選択します。日付と録画タイプを選び、**検索**をクリックします。



2. エクスポートするファイルを選択して **エクスポート** をクリックします。

0 ファイルが選択されました **エクスポート** **全てエクスポート**

<input type="checkbox"/>	No. デバイス	チャンネル	開始時刻	終了時刻	録画タイプ	ファイルサイズ	
<input type="checkbox"/>	1	VIGI C300HP-6 2.0	-	2022-04-26 18:33:34	2022-04-26 18:42:36	連続録画	55.56MB
<input type="checkbox"/>	2	VIGI C300HP-6 2.0	-	2022-04-26 18:44:00	2022-04-26 18:46:32	連続録画	--

3. **ブラウズ**をクリックして、エクスポートしたファイルを格納するPCのフォルダーを選択します。



4. エクスポートモードを選択します。  
**スピードモード**：互換モードよりも速いエクスポート処理を行います。

**互換モード**：エクスポートされた動画を、幅広いデジタル製品と互換性のあるH.264に変換します。

5. **エクスポート**をクリックすると、ファイルがエクスポートされます。






## ■ カメラから録画をエクスポート

1. ドロップダウンリストからカメラと記録元を選択します。日付と録画タイプを選び、**検索**をクリックします。



2. エクスポートするファイルを選択して  **エクスポート** をクリックします。

2 ファイルが選択されました, 合計 55.56MB 						
		 <b>エクスポート</b>		 <b>全てエクスポート</b>		
<input checked="" type="checkbox"/>	No. デバイス	チャンネル	開始時刻	終了時刻	録画タイプ	ファイルサイズ
<input checked="" type="checkbox"/>	1 VIGI C300HP-6 2.0	-	2022-04-26 18:33:34	2022-04-26 18:42:36	連続録画	55.56MB
<input checked="" type="checkbox"/>	2 VIGI C300HP-6 2.0	-	2022-04-26 18:44:00	2022-04-26 18:46:32	連続録画	--

3. **ブラウザ**をクリックして、エクスポートしたファイルを格納するPCのフォルダーを選択します。

全てエクスポート
×

にエクスポート コンピューター C:\Users\vericy\Documents\TP-Link\VIGI Security ブラウザ

エクスポートモード

**スピードモード** 元の動画形式でのエクスポートは高速です。

**互換モード** エクスポート前に、ビデオをH.264（さまざまなデジタル製品向け）にトランスコードします。

ファイルフォーマット **MP4**

エクスポート
キャンセル

4. エクスポートモードを選択します。

**スピードモード**：互換モードよりも速いエクスポート処理を行います。

**互換モード**：エクスポートされた動画を、幅広いデジタル製品と互換性のあるH.264に変換します。

5. **エクスポート**をクリックすると、ファイルがエクスポートされます。



## ♥ 6.4 ファイル設定

スクリーンショット・再生ページに記録された動画や動画クリップの保存先を指定できます。**設定** > **ストレージ設定** > **ファイル設定**の順に進み、**ブラウズ**をクリックして保存先を選択します。**保存**をクリックすると、対応ファイルを格納するための3種類のフォルダー（**画像**・**動画**・**クラウド**）が自動作成されます。



## ♥ 6.5 エクスポート形式

事前にエクスポートモードを設定しておくことで、よりスムーズにエクスポートを行えます。

### 各エクスポート前に確認

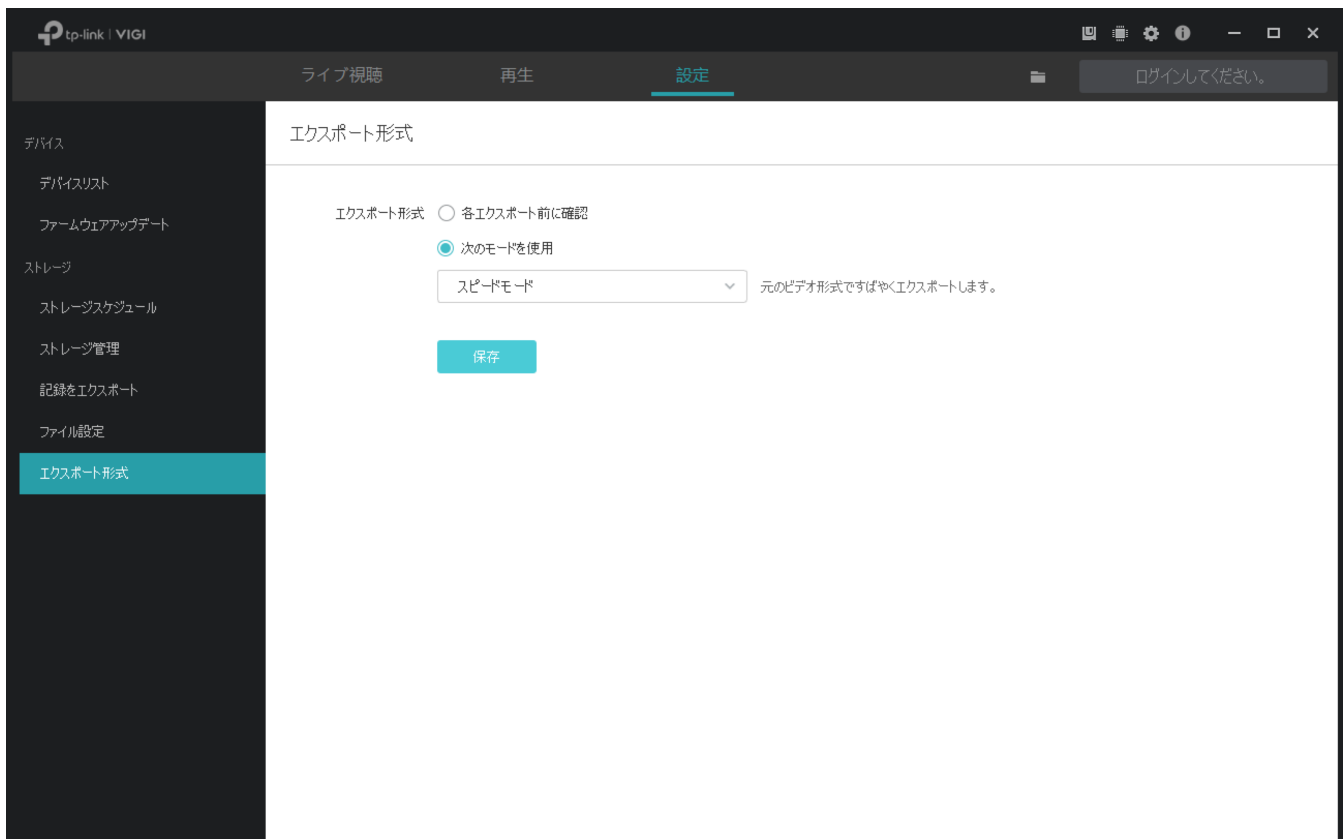
エクスポートの度にモードを選択する必要があります。

全てのファイルが選択したモードでエクスポートされます。

### 次のモードを使用

**スピードモード**：互換モードよりも速いエクスポート処理を行います。

**互換モード**：エクスポートされた動画を、幅広いデジタル製品と互換性のあるH.264に変換します。



# 7

## カメラ & NVRの設定

この章では、VIGI Security Managerに追加したカメラとVIGI NVRの設定方法を説明します。カメラのイベント・情報・表示パラメーター・デバイスのネットワーク設定等が可能です。また、システム設定の確認/構成やファームウェアのアップデートも行うことができます。

- [デバイス情報の確認](#)
- [基本情報の設定](#)
- [情報を表示の設定](#)
- [動画の設定](#)
- [イベントの設定 \(カメラのみ\)](#)
- [ネットワークの設定](#)
- [クラウドサービス](#)
- [システム設定](#)
- [ファームウェアアップデート](#)
- [デバイスの削除](#)



## ♥ 7.1 デバイス情報の確認

デバイスリストには、VIGI Security Managerに追加された全デバイスが一覧表示されます。TP-Link IDでログイン中の場合は、IDに紐付いているデバイスのみが表示されます。



**デバイス名** デバイス名を表示します。

**ステータス** 接続状態を表示します。デバイスがオフラインの場合は、🚨 にカーソルを合わせて、トラブルシューティングの指示に従います。


**IPアドレス** デバイスがVIGI Security Managerのホストと同じサブネット上にある場合に、デバイスのIPアドレスを表示します。同じサブネット上にない場合は、**リモートデバイス**が表示されます。

**MACアドレス** デバイスのMACアドレスを表示します。

**操作** **目**: クリックすると、デバイスの詳細情報が表示されます。管理している全てのNVRとカメラの情報は、デバイスリストから確認可能です。カメラの場合はシステムログも確認することができます。

**⚙️**: クリックすると、表示情報・ネットワーク設定・クラウドサービス等のデバイス機能を設定することができます。

### 7.1.1 デバイス情報の確認

設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。続いて**デバイス情報**をクリックすると、以下の情報が表示されます。



デバイス情報

VIGI C300HP-4 1.0

システムログ

デバイス情報

デバイス情報

デバイス情報

システム時刻: 2022-05-13 08:34:40

モデル: VIGI C300HP-4

デバイス名: VIGI C300HP-4 1.0

ファームウェアバージョン: 1.0.5 Build 210209 Rel.58606n

ネットワーク情報

IPアドレス: 192.168.0.8

MAC: 90-9A-4A-82-22-FB

ストリーム情報

解像度: 2304\*1296

フレームレート: 20

デバイスのQRコード

#### デバイス情報

システム時刻・デバイスモデル・デバイス名・ファームバージョンを表示します。

#### ネットワーク情報

デバイスのIPアドレスとMACアドレスを表示します。IPアドレスが表示されない場合は、ネットワークの状態をご確認のうえ後でもう一度お試しください。


#### ストリーム情報

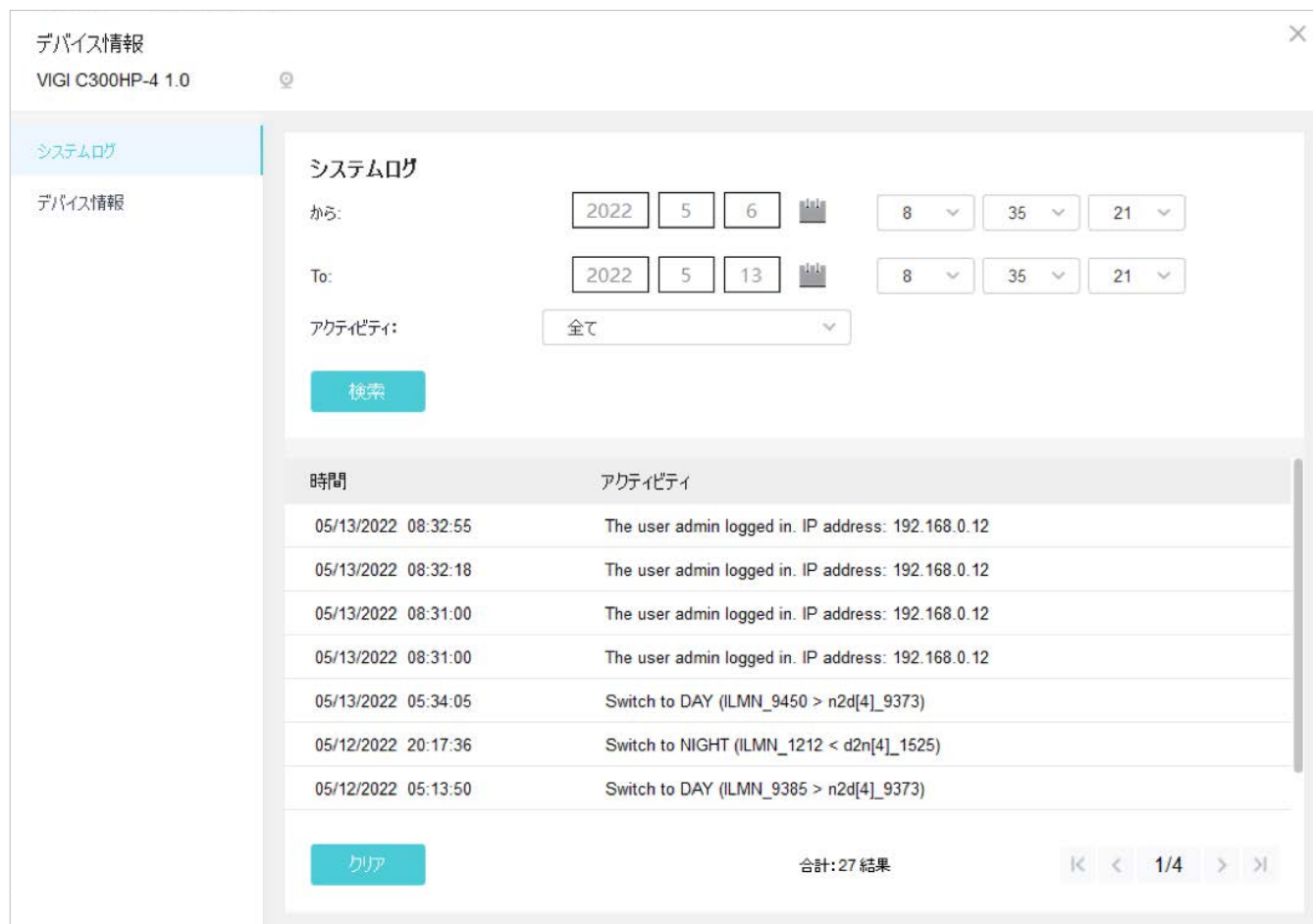
(カメラのみ) 解像度とビットレートを表示します。

#### デバイスのQRコード

QRコードを表示します。スキャンすると、デバイスをVIGIアプリに追加できます。

## 7.1.2 システムログの確認（カメラのみ）

システムログは、カメラのメッセージを記録するために使用されます。表示する場合は、**設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストのをクリックします。画面左側に表示される**システムログ**をクリックし、時間範囲を指定して検索をクリックすると、選択した時間に記録されたログが一覧表示されます。



デバイス情報  
VIGI C300HP-4 1.0

システムログ

システムログ

から: 2022 5 6 8 35 21

To: 2022 5 13 8 35 21

アクティビティ: 全て

検索

時間	アクティビティ
05/13/2022 08:32:55	The user admin logged in. IP address: 192.168.0.12
05/13/2022 08:32:18	The user admin logged in. IP address: 192.168.0.12
05/13/2022 08:31:00	The user admin logged in. IP address: 192.168.0.12
05/13/2022 08:31:00	The user admin logged in. IP address: 192.168.0.12
05/13/2022 05:34:05	Switch to DAY (ILMN_9450 > n2d[4]_9373)
05/12/2022 20:17:36	Switch to NIGHT (ILMN_1212 < d2n[4]_1525)
05/12/2022 05:13:50	Switch to DAY (ILMN_9385 > n2d[4]_9373)

クリア

合計:27 結果


1/4

**クリア**をクリックすると全ログが削除されます。

## ♥ 7.2 基本情報の設定

基本情報でデバイス名とチャンネル名（NVRのみ）を変更することができます。ローカルデバイスの場合、パスワードの変更も可能です。

**Note**：パスワードを変更する場合は、初めにTP-Link IDからログアウトしてください。

設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。基本情報をクリックします。名前を変更する場合は、名前を入力して**保存**を押します。パスワードを変更する場合は、**変更**をクリックしてパスワードとメールアドレスを入力して**確認**を押します。




## ▼ 7.3 情報を表示の設定

「情報を表示」のページでは、画像効果・プライバシーエリア・画面表示情報の設定ができます。

### 7.3.1 画像エフェクトの設定

画像では、画像効果を調整するためのパラメーターと機能を設定可能です。以下の手順に沿って画像設定を行ってください。

1. 設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。続いて**情報を表示** > **画像**と進みます。
2. パラメーターと機能を設定します。

- カメラの場合は、以下のパラメーターと機能が設定可能です。



### ミラー

ミラーモードを選択します。オフを選択すると、画像は正常に表示されます。

### 日中/夜間切り替え

日中と夜間で画像設定を切り替える方法を選択します。**自動**または**スケジュールしました**を選択する場合は、日/夜タブをクリックしてそれぞれの設定を行います。

**オフ**：1日中同じ画像設定を適用します。

**自動**：光の強さに合わせて日中と夜間の画像モードを自動で切り替えます。

**スケジュールしました**：指定した時間で日中と夜間の画像モードを切り替えます。スライダーを動かして時間を調整できます。

### 明るさ

画像の明るさを調整します。値が大きいほど画像は明るくなります。

### コントラスト

画像のコントラストを調整します。値が大きいほど画像のコントラストは高くなります。

### 彩度

画像の彩度を調整します。値が大きいほど画像の色は濃くなります。

### シャープネス

画像の鮮明さを調整します。値が大きいほど画像は鮮明になります。

---

<b>露出</b>	<p>露出モードを選択します。</p> <p><b>自動</b>：露出を自動調整します。自動を選択した場合は、露出スケールを指定します。スケールが大きいほど画像は明るくなります。</p> <p><b>手動</b>：露出が固定されます。手動を選択した場合は、スライドバーを動かして露出ゲインを調整し、シャッタースピードを選択します。シャッタースピードが遅いほど画像は明るくなります。</p>
<b>赤外線への露出過度を防ぐ</b>	<p>夜間に被写体がカメラへ近づいた際、赤外線ライトによる過度な露出を避けるためのモードです。<b>手動</b>を選択した場合は、スライドバーを動かして露出スケールを選択します。</p>
<b>明るさ調整モード</b>	<p>モードを選択して赤外線ライトの使用方法を決めます。選択できるオプションは、日中/夜間切り替えで選択したモードによって異なります。</p> <p><b>自動</b>：周囲が暗くなったのを検知すると自動で赤外線ライトを有効にし、明るくなると無効にします。</p> <p><b>感度</b>を指定して、赤外線ライトのオン/オフ切り替える光の強さを決めます。感度が低いほど、赤外線ライトは作動しやすくなります。</p> <p><b>遅延切り替え</b>を入力すると、周囲の明るさが赤外線ライトの作動条件に達した際に、ライトが切り替えを行うまでの待機時間を指定することができます。</p> <p><b>スケジュールオン/オフ</b>：赤外線ライトを有効/無効にする時間を指定します</p> <p><b>常にオン/オフ</b>：常に赤外線を有効/無効にします。</p>
<b>WDR</b>	<p>WDR（ワイドダイナミックレンジ）では、逆光の映像を改善します。オンにすると、カメラは最も明るい場所と暗い場所の光のバランスを自動で取ります。</p>
<b>BLCエリア</b>	<p>BLC（バックライト補正）は、映像の暗い部分をよりクリアに映し出します。位置を選択すると、カメラはそのエリアの光の強度に合わせて露出を調整します。</p>

---

**ホワイトバランス** モードを選択すると、色温度が調整され実物に近い映像を目指せます。

**自動**：色温度を自動調整します。

**昼光/自然光/白熱/暖色光**：色温度を調整して、対応する光によって発生する色かぶりを取り除きます。

**カレント**：常に現状のカラー設定を維持します。

**カスタム**：スライダーを動かして色温度を指定すると、カメラは常にその設定を維持します。

- NVRの場合は、チャンネルを選択して以下のパラメーターが設定可能です。



**明るさ** 画像の明るさを調整します。値が大きいほど画像は明るくなります。

**コントラスト** 画像のコントラストを調整します。値が大きいほど画像のコントラストは高くなります。

**彩度** 画像の彩度を調整します。値が大きいほど画像の色は濃くなります。


**シャープネス** 画像の鮮明さを調整します。値が大きいほど画像は鮮明になります。

デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。

### 7.3.2 プライバシーマスクの設定

プライバシーマスクでは、映像内にプライバシーエリアを設定できます。エリア内の録画と監視は行えません。

以下の手順に沿ってプライバシーマスクを設定します。

1. **設定** > **デバイスリスト** > **マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**情報の表示** > **プライバシーマスク**と進みます。
2. プライバシーマスクを有効にしてチャンネルを選択し（NVRの場合のみ）、プレビュー画面にプライバシーエリアを描きます（下記の四角い黒塗りの部分）。マウスでエリアの大きさや位置を調整可能です。特定のエリアのみ削除する場合は、そのエリアを選択して**削除**をクリックします。全て削除する場合は**クリア**をクリックします。




3. **保存**をクリックして設定を完了します。

デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。

### 7.3.3 OSDの設定

OSD（オンスクリーンディスプレイ）では、ライブ視聴と録画面面に表示される情報を編集できます。

以下の手順に沿ってOSDを設定します。

1. **設定** > **デバイスリスト** > **マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**情報** > **OSD**と進みます。



2. ドロップダウンリストからチャンネルを選択し (NVRのみ)、表示エフェクトと効果を設定します。表示する情報にチェックを入れ、プレビュー画面上で位置を調整したら、**保存**をクリックします。



<b>日付/日</b>	クリックすると日時を表示または非表示にします。
<b>チャンネル</b>	チェックボックスをクリックして、表示するチャンネル名を入力します。
<b>注意 1/2</b>	(カメラのみ) チェックボックスをクリックして、表示するメモを入力します。
<b>表示エフェクト</b>	表示エフェクトを選択して表示します。
<b>フォントサイズ/色</b>	(カメラのみ) 表示する情報のフォントサイズと色を選択します。

デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。


## ♥ 7.4 動画の設定

NVRとカメラは、メインストリームとサブストリームの2パターンに対応しており、解像度や画質等、ライブ視聴と再生の動画パラメーターを設定することができます。設定はVIGI Security Managerに追加したNVRとカメラに適用可能です。VIGI Security Managerに直接追加されたカメラでは、気になるエリアを設定し、その部分の画質を上げることもできます。

### 7.4.1 ストリームの設定

ストリーム設定をすることで、動画の解像度や滑らかさを調整可能です。設定は録画のファイルサイズや帯域幅にも影響します。メイン/サブの選択は、**ライブ視聴**画面のデバイス一覧にあるカメラ名または、カメラの映像を右クリックして、**ストリーム**をクリックします。

以下の手順に沿って、ストリーム設定を行います。

3. **設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**動画 > ストリーム**と進みます。



4. 必要に応じて、メインストリームとサブストリームのパラメーターを設定します。

#### 解像度

ビデオストリームの解像度を指定します。解像度を上げると映像はより鮮明に表示されます。

#### フレームレート

動画のフレームレートを指定します。レートを上げると映像はより滑らかになります。

#### スマートコーディング

スマートコーディングを有効にすると、圧縮パフォーマンスが向上します。録画のファイルサイズは小さくなり、録画に使用する帯域幅も少なくなります。

#### ビットレート

ビットレートの種類を選択します。  
VBR：最大値を超えない範囲で動画に合わせて変化します。  
CBR：常に最大のビットレートです。

#### 画質

ビットレートタイプとしてVBRを選択した場合は、画質を高・中・低のいずれかに設定します。

#### 最大ビットレート

ビットレートタイプとしてVBRを選択した場合は、ビットレートの上限を指定します。  
ビットレートタイプとしてCBRを選択した場合は、ビットレートを指定します。


## エンコーディング

ストリームのエンコードタイプを選択します。H.265は、H.264よりもファイルサイズが小さく帯域幅の節約ができます。

5. **保存**をクリックします。

### 7.4.2 ROIの設定（カメラのみ）

ROI (Region of Interest) では、各カメラで指定したエリアの関心レベルを構成できます。1~6のレベルがあり、レベルが高いほど画質は向上します。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの**順に進み、リストの  をクリックします。続いて**動画 > ROI**と進みます。



2. ROIを有効にします。


3. ストリームタイプを選択し、プレビュー画面にエリアを描きます（上記画像の黄色い四角）。マウスでエリアの大きさや位置を調整可能です。

4. ROIレベルを指定し、**保存**をクリックします。

## ♥ 7.5 イベントの設定（カメラのみ）

VIGI Security Managerを使用すると、カメラのイベント設定を構成して様々なタイプの検知ができます。オフィス等でユーザーが定義したエリアをモニタリングしたり、不審なアクティビティに対する自動警告をしたりすることも可能です。


イベントの設定前に、カメラとTP-Link IDを紐付け、そのIDでVIGI Security Managerにログインすることをおすすめします。紐付けを行う場合は、**設定 > デバイスリスト > マイデバイスの**順に進み、

リストの  をクリックします。続いて**ネットワーク設定** > **クラウドサービス**と進み、紐付けを行います。VIGIアプリをダウンロードしてTP-Link IDでログインすると、アプリを入れたスマートフォンでアラートを受信することも可能です。

## 7.5.1 基本イベントの設定

### ■ 動作検知

動作検知では、カメラの監視エリア内で動く物体を検知した際に、アラームを作動させることができます。範囲を指定してカスタマイズできます。以下の手順に沿って設定を行います。


1. **設定** > **デバイスリスト** > **マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**イベント** > **基本イベント**と進みます。

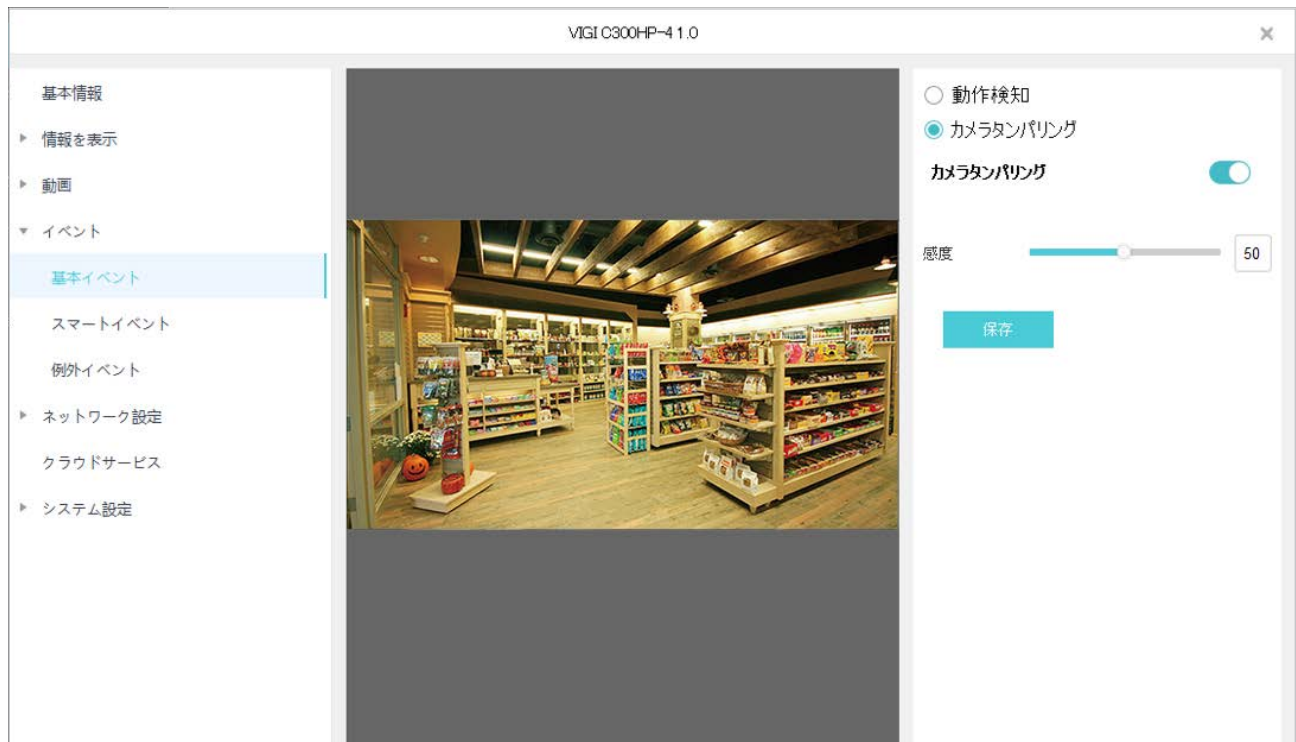


2. 画面右上の**動作検知**をクリックして有効にします。
3. 動作検知の感度を調整します。値が大きいほど検知頻度は上がります。
4. プレビュー画面に検知エリアを指定します。**全エリア**をクリックすると、ライブ視聴画面全体が選択されます。
5. **保存**をクリックします。

### ■ カメラタンパリング

カメラタンパリングは、カメラのレンズが何かに覆い隠されたり破壊されたりすると作動します。設定はカスタマイズ可能です。以下の手順に沿って設定を行います。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。続いて**イベント > 基本イベント**と進みます。**




2. 画面右上の**カメラタンパリング**をクリックして有効にします。
3. カメラタンパリングの感度を調整します。値が大きいほど検知頻度は上がります。
4. **保存**をクリックします。

## 7.5.2 スマートイベントの設定

### ■ ライン通過検知

ライン通過検知は、指定したラインを物体が通過すると作動します。設定のカスタマイズや、有効にするスケジュール設定も可能です。以下の手順に沿って設定を行います。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。続いて**イベント > スマートイベント**と進みます。**



2. 画面右上の**ライン通過検知**をクリックして有効にします。

3. **スケジュール**をクリックします。タイムバーをクリックして、開始時刻と終了時刻を入力します。**保存**をクリックしてスケジュール設定を終了します。

4. プレビュー画面にラインを引きます。最大で4つのラインを設定可能です。

### 感度

ライン通過検知の感度を設定します。値が大きいほど検知頻度は上がります。

### 方向

**A->B:** 設定したラインをAからBの方向に横切る物体のみを検知します。

**A<-B:** 設定したラインをBからAの方向に横切る物体のみを検知します。

**A<->B:** 設定したラインを横切る物体を検知します。

5. **保存**をクリックします。

### ■ エリア侵入検知

エリア侵入検知は、指定したエリアへの侵入を検知した際に作動します。設定のカスタマイズや、有効にするスケジュール設定も可能です。以下の手順に沿って設定を行います。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの**順に進み、リストの **⚙** をクリックします。続いて**イベント > スマートイベント**と進みます。



2. 画面右上の**エリア侵入検知**をクリックして有効にします。
3. **スケジュール**をクリックします。タイムバーをクリックして、開始時刻と終了時刻を入力します。**保存**をクリックしてスケジュール設定を終了します。






4. プレビュー画面にエリアを指定します。最大で4つのエリアを設定可能です。

<b>感度</b>	エリア侵入検知の感度を設定します。値が大きいほど検知頻度は上がります。
<b>パーセンテージ</b>	エリアに侵入する物体のサイズ比率が設定したパーセンテージに達すると、エリア侵入検知が作動します。
<b>期間</b>	物体の侵入を検知する時間を設定します。間隔は10秒以内にする必要があります。

5. **保存**をクリックします。

### 7.5.3 例外イベントの設定

例外イベントでは、カメラのセキュリティを守るために最大ログイン試行回数を設定することができます。カメラのパスワード入力に失敗した回数が指定値を超えると、VIGI Security Managerは30分間ロックされます。以下の手順に沿って設定を行います。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**イベント > 例外イベント**と進みます。



2. 画面右上の**ログインエラー検出**を有効にします。
3. **最大ログイン試行回数**を設定します。範囲は3～10回です。
4. **保存**をクリックします。


## ♥ 7.6 ネットワークの設定

ネットワーク設定では、IPアドレスやMTU (Maximum Transmission Unit) を構成できます。NVRで管理していないカメラでは、管理ポートを構成し、ポート転送・IP制限・マルチキャスト等の高度な機能を有効にすることもできます。

### 7.6.1 基本&高度なネットワークの設定

ネットワーク設定では、IPアドレスを自動取得にするか、静的IPアドレスを割り当てるかをデバイスに設定することができます。必要に応じて、MTUの変更も可能です。

以下の手順に沿って、ネットワーク設定を構成します。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの順に進み、リストの  をクリックします。続いて**ネットワーク設定 > 構成**と進みます。**
2. 基本設定を行いIPアドレスを構成します。
  - デバイスに静的IPアドレスを割り当てる場合は、モードで静的IPを選択して、次のパラメーターを構成します。



VIGI C900HP-41.0

基本情報

- 情報を表示
- 動画
- イベント
  - 基本イベント
  - スマートイベント
  - 例外イベント
- ネットワーク設定
  - 構成**
  - ポート番号
  - ポート開放
  - IP制限
  - マルチキャスト
  - クラウドサービス

ネットワーク構成

ステータス ● 接続しました

接続タイプ ケーブル

基本設定

モード 静的IP

IPアドレス 192.168.0.8

サブネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ 192.168.0.1

優先DNS 192.168.0.1

代替案 DNS 192.168.0.1

高度な設定

MTU 1480

保存

#### IPアドレス

デバイスのIPアドレスを指定します。IPアドレスは、ゲートウェイと同じセグメントにある必要があります。異なっていると、デバイスはインターネットに接続できません。

#### サブネットマスク

サブネットマスクを入力します。

**ゲートウェイ**

ゲートウェイデバイスのIPアドレスを入力します。このIPアドレスは、デバイスのIPアドレスと同じセグメントにある必要があります。

**優先/代替 DNS**

DNSサーバーのIPアドレスを入力します。

- 動的IPアドレスを取得するようにデバイスを構成する場合は、モードで**DHCP**を選択します。

The screenshot shows the 'ネットワーク構成' (Network Configuration) page in the VIGI C900HP-4 1.0 web interface. The left sidebar contains a navigation menu with 'ネットワーク設定' (Network Settings) expanded to '構成' (Configuration). The main content area is divided into '基本設定' (Basic Settings) and '高度な設定' (Advanced Settings). Under '基本設定', the 'モード' (Mode) is set to 'DHCP'. Other fields include 'IPアドレス' (192.168.0.8), 'サブネットマスク' (255.255.255.0), 'ゲートウェイ' (192.168.0.1), '優先DNS' (192.168.0.1), and '代替案 DNS' (192.168.0.1). Under '高度な設定', the 'MTU' is set to 1480. A '保存' (Save) button is visible at the bottom.

**Note** : デバイスが動的IPアドレスを取得するには、DHCPサーバー（通常はルーター）が必要です。

- （オプション）MTU（Maximum Transmission Unit）を指定して、ネットワークで送信できる最大データサイズを決定します。値が大きいほど、各パケットでより多くのデータを送信可能ですが、送信に時間を要するためネットワークの遅延が増加する可能性があります。
- 保存**をクリックします。

## 7.6.2 ポート番号の設定（カメラのみ）

ポート番号では、ネットワーク経由でカメラにアクセスするのに使用できるHTTPポート・RTSPポート・サービスポートを設定できます。ここで構成されたポートは、対応するプロトコルの通信に使用されます。

ポートの設定を行う場合は、**設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いてネットワーク設定 > ポート番号と進み、設定を行って保存をクリックします。



**HTTPポート** HTTPプロトコルのポートを指定します。

**RTSPポート** RTSPプロトコルのポートを指定します。

**動画サービスポート** 動画サービスのプロトコル用ポートを指定します。


デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。


### 7.6.3 ポート開放の設定（カメラのみ）

ポート開放（転送）は、内部ポートと外部ポート間のマッピングを確立するために使用されます。ポート開放を有効にすると、外部ポートにリモートでアクセスした際、デバイスにアクセスして動画を確認することができます。

**Note**：デバイスがインターネットに接続され、ゲートウェイでポート開放が有効になっている必要があります。

以下の手順に沿ってポート開放を設定します。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**ネットワーク設定 > ポート開放**と進みます。

2. ポート開放を有効にして、マッピングタイプを指定します。開放ルールで**自動**を選択すると、マッピングが自動で確立されます。**手動**を選択した場合は、 をクリックして外部ポートを指定します。



VIGI C300HP-4 1.0

基本情報

- ▶ 情報を表示
- ▶ 動画
- ▼ イベント
  - 基本イベント
  - スマートイベント
  - 例外イベント
- ▼ ネットワーク設定
  - 構成
  - ポート番号
  - ポート開放**
  - IP制限
  - マルチキャスト
  - クラウドサービス
- ▼ システム設定

ポート開放

ポート開放:

開放ルール:

ポート番号	内部ポート	外部ポート	内部IP	ステータス
HTTP	443	1024	192.168.0.8	無効にする 
RTSP	554	554	192.168.0.8	無効にする 
動画サービス	8800	8800	192.168.0.8	無効にする 

#### ポートタイプ

プロトコルタイプを表示します。

#### 内部ポート

変換するデバイスのポートを表示します。

#### 外部ポート

ゲートウェイによって開放された外部ポートを表示します。

#### 内部IP

変換が必要なデバイスのIPアドレスを表示します。

#### ステータス

マッピングのステータスを表示します。

3. **保存**をクリックします。

ポート開放を有効にすると、「rtsp://A.B.C.D:Port/streamN」のようなURLにアクセスして動画をリモートで視聴することができます。

【例】 <rtsp://10.0.1.47:28736/stream1>


A.B.C.D：ゲートウェイのWAN IPアドレス/Port：RTSPの外部ポート番号/N：ストリームを示す1または2（1：メインストリーム/2：サブストリーム）

デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。

### 7.6.4 IP制限の設定 (カメラのみ)

IP制限を有効にすると、拒否リストや許可リストにIPアドレスを追加して、カメラへのアクセスを制限することができます。拒否リストのIPアドレスはアクセス不可となり、許可リストのIPアドレスのみがカメラにアクセス可能となります。

以下の手順に沿って、拒否または許可リストにIPアドレスを追加します。


1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの**順に進み、リストの  をクリックします。続いて**ネットワーク設定 > IP制限**と進みます。
2. IP制限を有効にして、**拒否リスト**または**許可リスト**を選択します。続いて**追加**をクリックしてIPアドレスと説明を入力します。**保存**をクリックすると、入力したIPアドレスが対応するリストに表示されます。



3. 最後にIP制限のページの**保存**をクリックして設定を完了します。デフォルトの設定に戻りたい場合は**リセット**をクリックします。

### 7.6.5 マルチキャストの設定 (カメラのみ)

マルチキャストが有効になっていると、マルチキャストアドレスとポートを使用して動画を視聴できます。以下の手順に沿って、マルチキャストを設定します。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイスの**順に進み、リストの  をクリックします。続いて**ネットワーク設定 > マルチキャスト**と進みます。

2. ストリームを選択のうえ、マルチキャストを有効にします。マルチキャストアドレスとポートでは、ランダムIPポートを無効にして静的アドレスとポートを指定するか、有効にしてランダムなポートとアドレスを使用することが可能です。設定が完了したら**保存**をクリックします。



マルチキャストを有効にすると、「rtsp://A:B:C:D/multicastStreamN」のようなURLにアクセスして動画を視聴することができます。

【例】 <rtsp://192.168.0.3/multicastStream1>


A.B.C.D：カメラのIPアドレス/N：ストリームを示す1または2（1：メインストリーム/2：サブストリーム）

デフォルトの設定に戻したい場合は**リセット**をクリックします。

## ♥ 7.7 クラウドサービス

VIGI Security Managerでは、TP-Linkクラウドサービスを活用したリモート管理に対応しています。TP-Link IDと紐付けると、PCでカメラからの映像をリモート監視することが可能です。

デバイスとTP-Link IDを紐付け/紐付け解除する場合は、次の手順に沿って行います。

1. **設定 > デバイスリスト > マイデバイス**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**クラウドサービス > ログイン**の順に進みます。



2. 自動ログインを有効にすると、アカウントを記憶させて自動的にログインできるようにすることができます。入力が完了したら**ログイン**をクリックします。

**ログイン** ✕

**注意:** ログイン後にローカルデバイスを再度追加する必要があります。

techwriter@tp-link.com ▼

●●●●●● 🗨

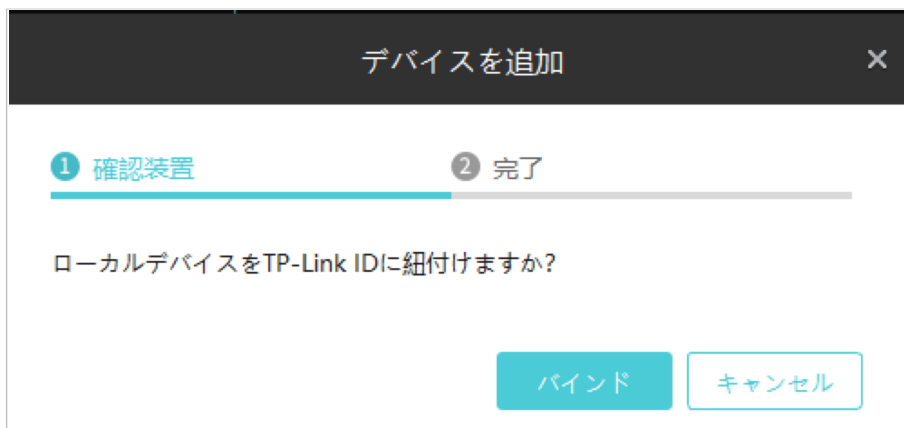
自動ログイン      パスワードをお忘れですか?

[ログイン](#)

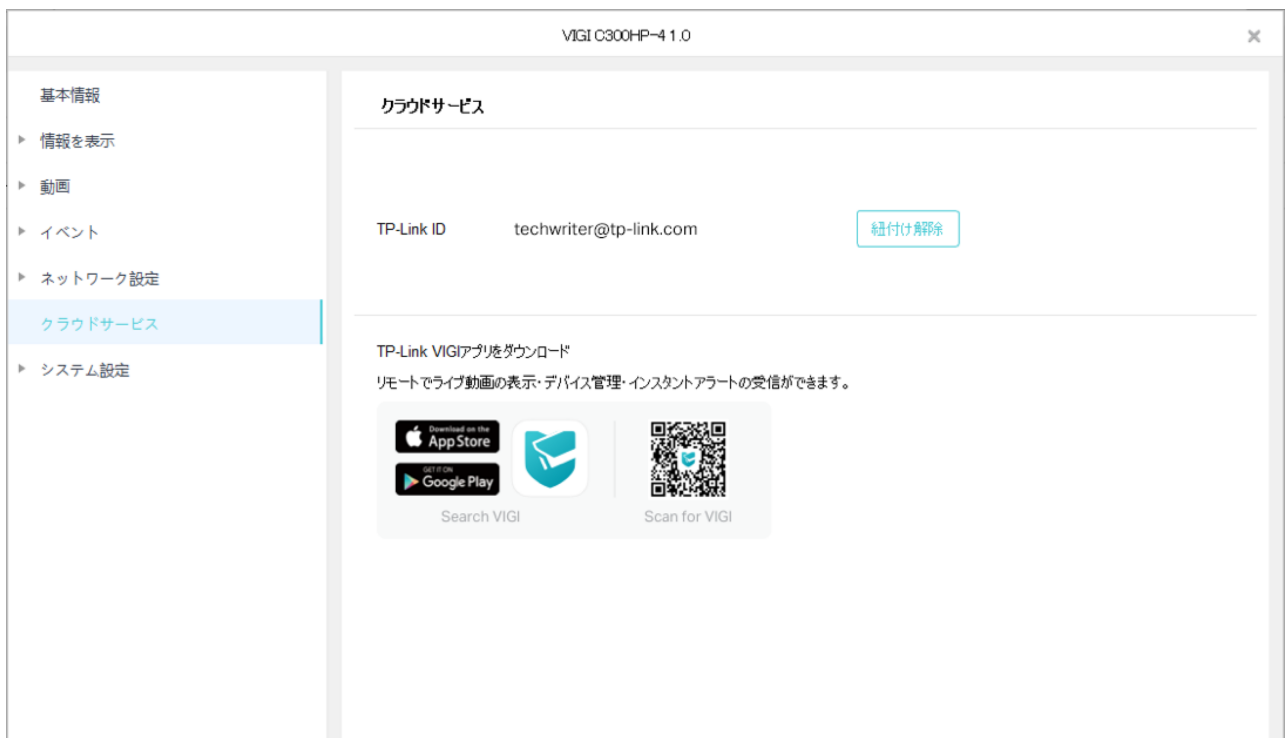
[サインアップ](#)



3. **バインド**をクリックすると、ローカルで追加した全デバイスが自動でTP-Link IDに紐付けされます。

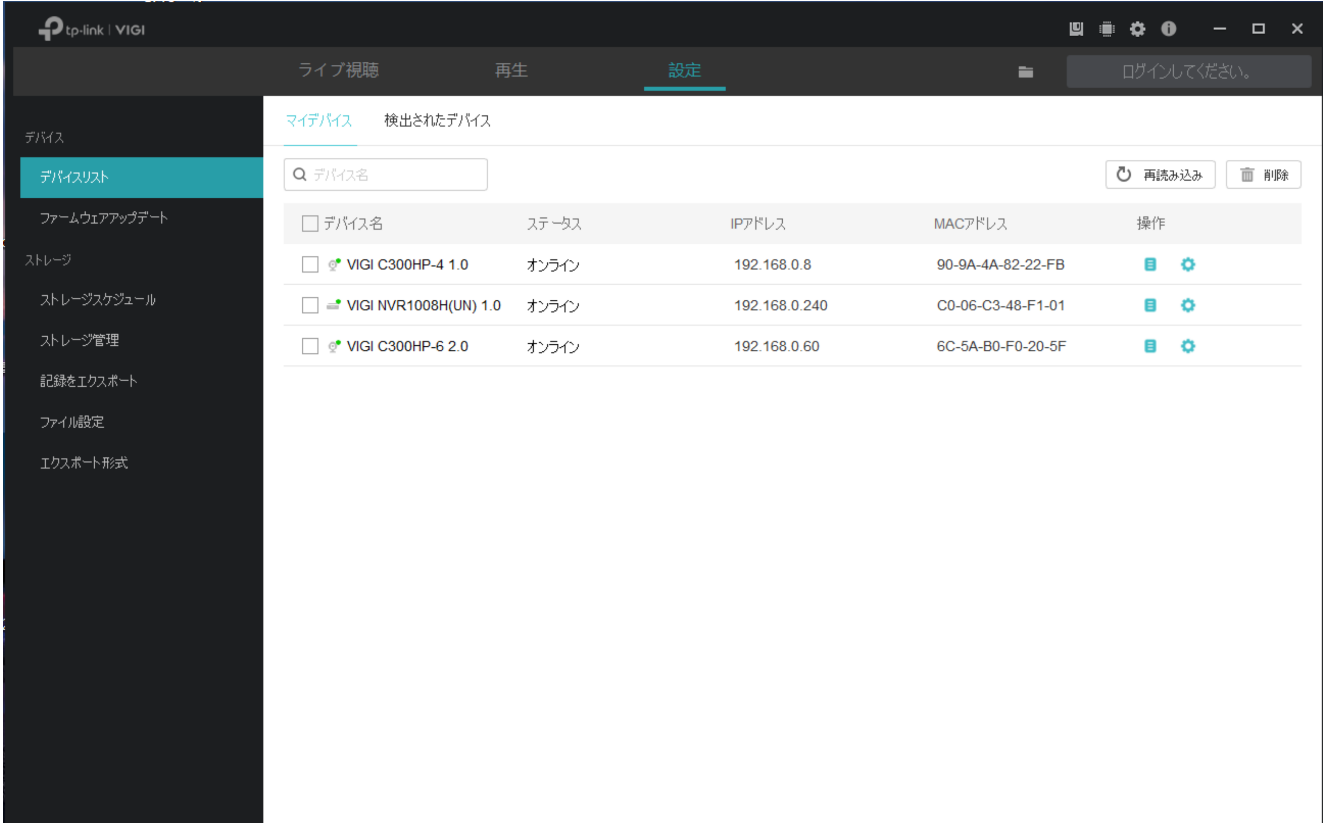


4. (オプション) デバイスの紐付け完了後、特定のデバイスとTP-Link IDの紐付けを解除する場合は、紐付け解除をクリックします。









## ▼ 7.8 システム設定


システム設定では、デバイスの名前・パスワードの変更や、時刻・再起動スケジュールの設定等が行えます。設定を行う場合は、**設定** > **デバイスリスト**の順に進み、リストの  をクリックします。



The screenshot shows the 'Settings' (設定) page in the TP-Link VIGI web interface. The 'Device List' (デバイスリスト) section is active, displaying a table of detected devices. The table has the following columns: Device Name (デバイス名), Status (ステータス), IP Address (IPアドレス), MAC Address (MACアドレス), and Actions (操作). Three devices are listed, all with a status of 'Online' (オンライン).

デバイス名	ステータス	IPアドレス	MACアドレス	操作
VIGI C300HP-4 1.0	オンライン	192.168.0.8	90-9A-4A-82-22-FB	 
VIGI NVR1008H(UN) 1.0	オンライン	192.168.0.240	C0-06-C3-48-F1-01	 
VIGI C300HP-6 2.0	オンライン	192.168.0.60	6C-5A-B0-F0-20-5F	 


## 7.8.1 基本設定

デバイス名・チャンネル名 (NVRの場合のみ)・デバイスのパスワードを変更する場合は、**設定 > デバイスリスト**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**システム設定 > 基本設定**と進みます。

**変更**をクリックすると、パスワードとパスワードリセット用のメールアドレスを変更できます。

**Note** : 変更できるのはローカルデバイスのパスワードのみです。

## 7.8.2 時刻設定

VIGI Security Managerでは、2つの方法でシステム時刻を変更可能です。時刻設定を行う場合は、**設定** > **デバイスリスト**の順に進み、リストの  をクリックします。続いて**システム設定** > **時刻設定**と進みます。

### ■ インターネットから取得

VIGIデバイスは、NTP（ネットワーク・タイム・プロトコル）を使用してインターネットからシステム時刻を自動取得することができます。お住まいの地域に応じてタイムゾーンを選択します。NVRが提供するデフォルトのNTPサーバーアドレスから時刻を取得したくない場合は、NTPサーバーアドレスをカスタマイズすることも可能です。



VIGI NVR1008H(UN) 1.0

時刻設定

デバイス時刻: 2022-05-13 15:17:49

時間設定:  インターネットから取得  手動

タイムゾーン: (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

NTPサーバー: 0.0.0.0 (オプション)

保存

## ■ 手動で設定

デバイスの時刻を手動で設定することができます。**PCから取得**をクリックして、PCの時刻と同期させることも可能です。



VIGI NVR1008H(UN) 1.0

基本情報

- ▶ 情報を表示
- ▶ 動画
- ▶ PTZ
- ▶ ネットワーク設定
- クラウドサービス
- ▼ システム設定
  - 基本設定
  - 時刻設定
  - 再起動

時刻設定

デバイス時刻: 2022-05-13 15:29:59

時間設定:  インターネットから取得  手動

タイムゾーン: (UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

日付: 2022-5-13

時間: 15 29 59

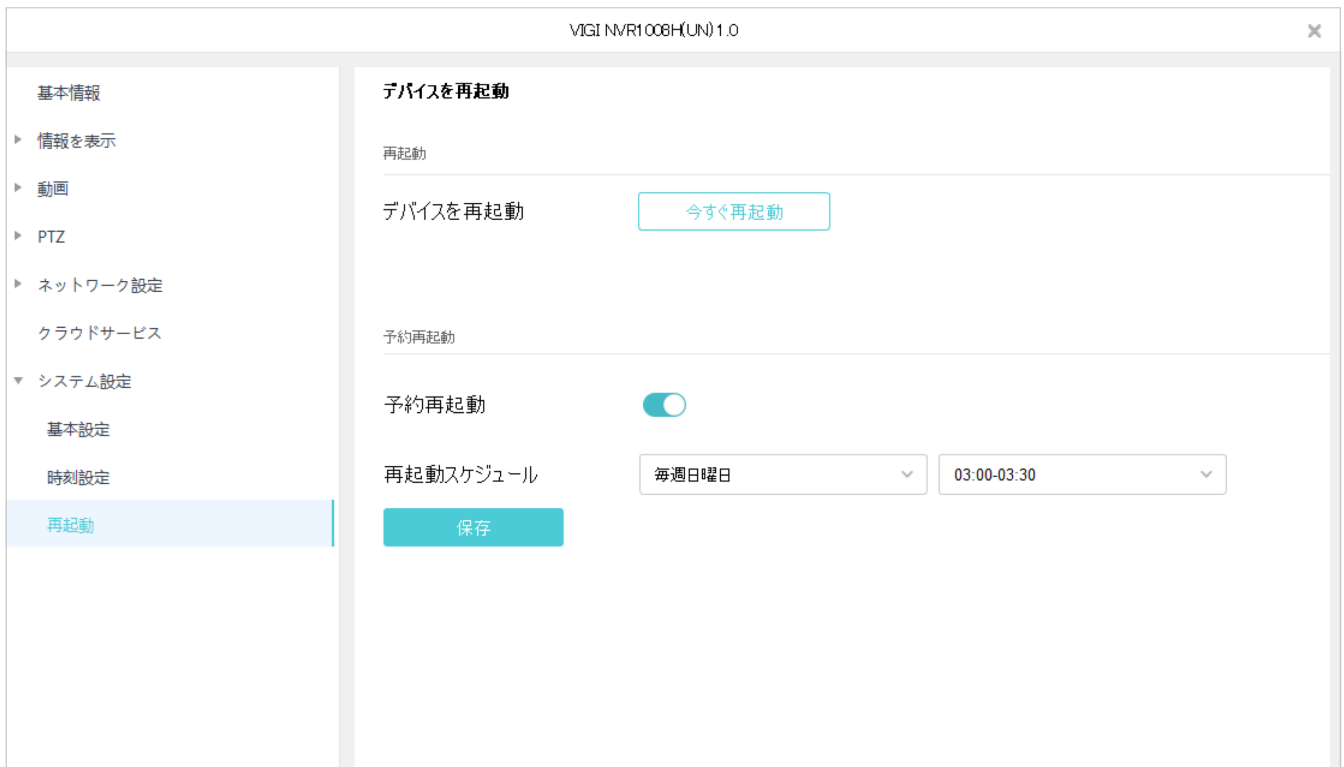
保存

PCから取得

### 7.8.3 デバイスの再起動

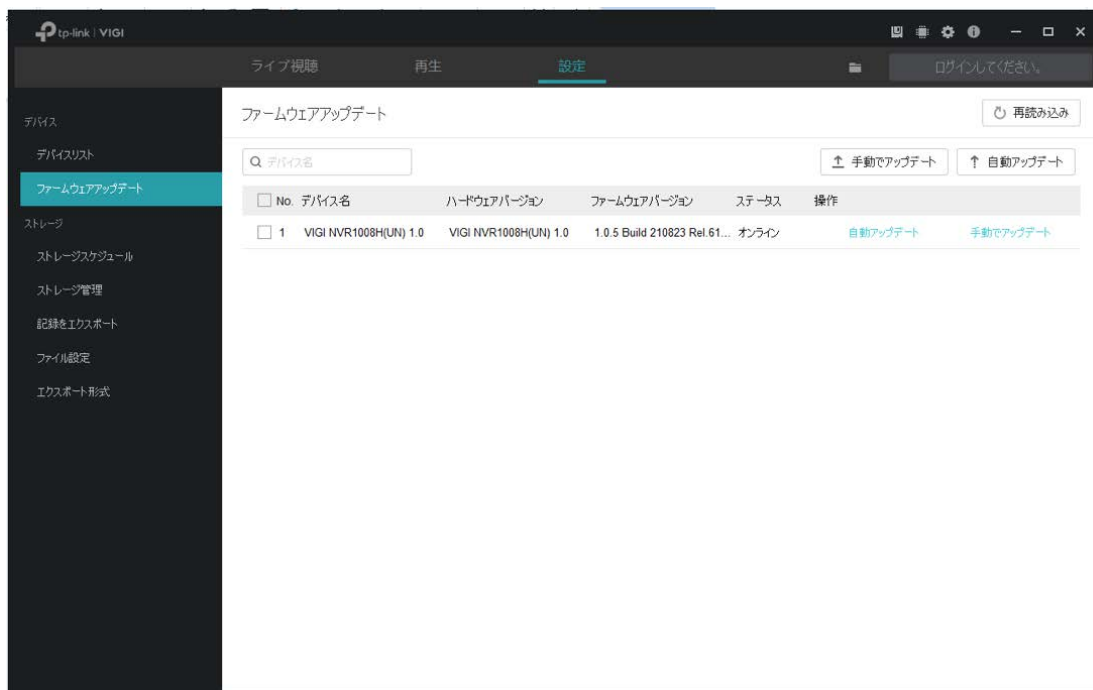
デバイスを再起動する場合は、**設定 > デバイスリスト**の順に進み、リストの  をクリックします。続いてシステム **設定 > 再起動**と進みます。

再起動をスケジュールする場合は、**予約再起動**を有効にしてスケジュールを設定します。



## ♥ 7.9 ファームウェアアップデート

VIGI Security Managerを使用して、デバイスのファームウェアを自動または手動でアップデートすることができます。アップデートを行う場合は、**設定 > ファームウェアアップデート**の順に進みます。



### 自動アップデート

デバイスを選択し、**自動アップデート**をクリックすると、デバイスを自動でアップデートできます。

### 手動でアップデート

デバイスを選択して手動でアップデートをクリックします。続いてアップデートファイルをインポートし**アップデート**をクリックします。

#### ↑ 手動でアップデート

デバイス名の横にあるチェックボックスをクリックのうえ **↑ 手動でアップデート** をクリックすると、自動アップデートが行われます。

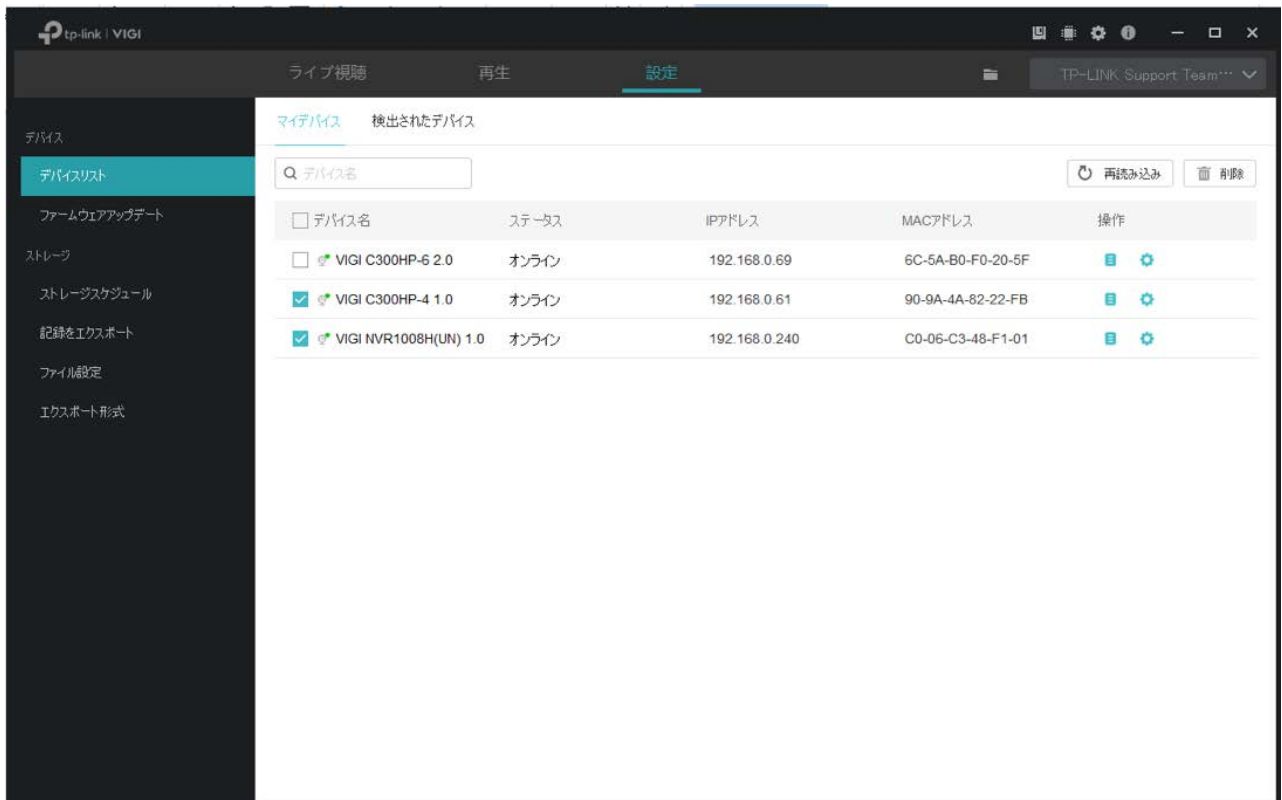
#### ↑ 自動アップデート

デバイス名の横にあるチェックボックスをクリックのうえ **↑ 自動アップデート** をクリックします。続いてアップデートファイルをインポートし**アップデート**をクリックします。

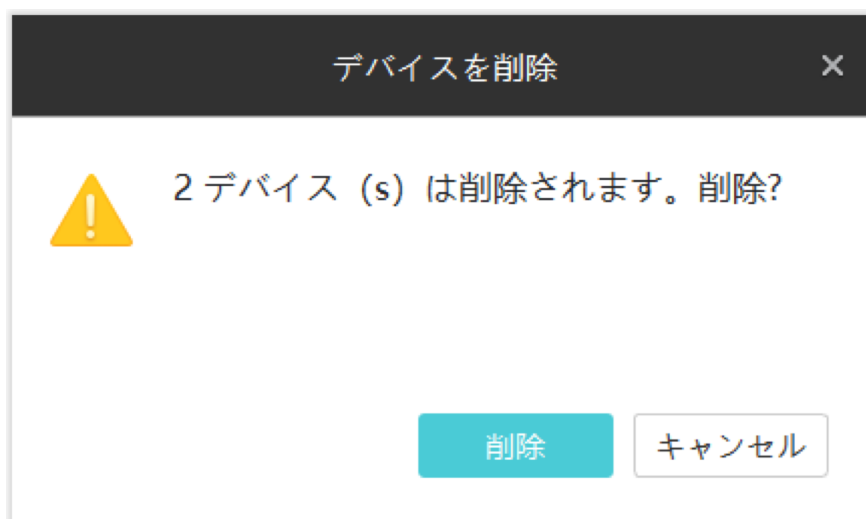
## ♥ 7.10 デバイスの削除

VIGI Security Managerからデバイスを削除する場合は、以下の手順に沿って行います。

1. **設定 > デバイスリスト**の順に進みます。



2. **削除**したデバイスのチェックボックスをクリックします。
3. **削除**をクリックします。





# 8

## システム管理

この章では、VIGI Security Managerのシステム表示と管理方法について説明します。ストレージやCPU使用率の確認・システム設定・ソフトウェアアップデートが可能です。

画面右上にあるアイコンから、ストレージやCPU使用率の確認・システム設定・ソフトウェアアップデートができます。



アイコンの上にカーソルを置くと、ストレージの使用状況を確認できます。




アイコンの上にカーソルを置くと、CPU使用率を確認できます。

チェックボックスをクリックして、以下のシステム設定ができます。

**Windowsスタートアップで実行**：PC起動時にソフトウェアを自動で実行します。



**ハードウェアデコードを有効にする**：GPUが特定の動画データを処理できるようにします。これによってCPUの負荷が軽減され、アプリケーションの実行がスムーズになります。

**閉じた際**：  をクリックした際に終了するか、トレイに最小化するか選択します。



クリックすると、VIGI Security Managerのソフトウェアバージョンの確認とアップデートができます。